

# 第 61 回 河川レンジャー制度運営委員会

日 時：令和 2 年 12 月 8 日（火）14:00～15:50

場 所：琵琶湖河川事務所 1F 第 1 会議室

## 議 事 次 第

### 1. 開会

### 2. 委員紹介

### 3. 報告

- (1) 第 60 回河川レンジャー制度運営委員会の議事録について (資料-1)
- (2) 第 1 回 琵琶湖河川レンジャー・琵琶湖河川事務所意見交換会 開催報告 (資料-2)
- (3) 河川レンジャー中間活動報告 (資料-3)

### 4. 意見交換

### 5. その他

- (1) 今後のスケジュール (資料-4)
- (2) 河川レンジャーレポート Vol. 41 発行について (参考資料-1)
- (3) 傍聴者からの意見

### 6. 閉会

---

#### 【配付資料】

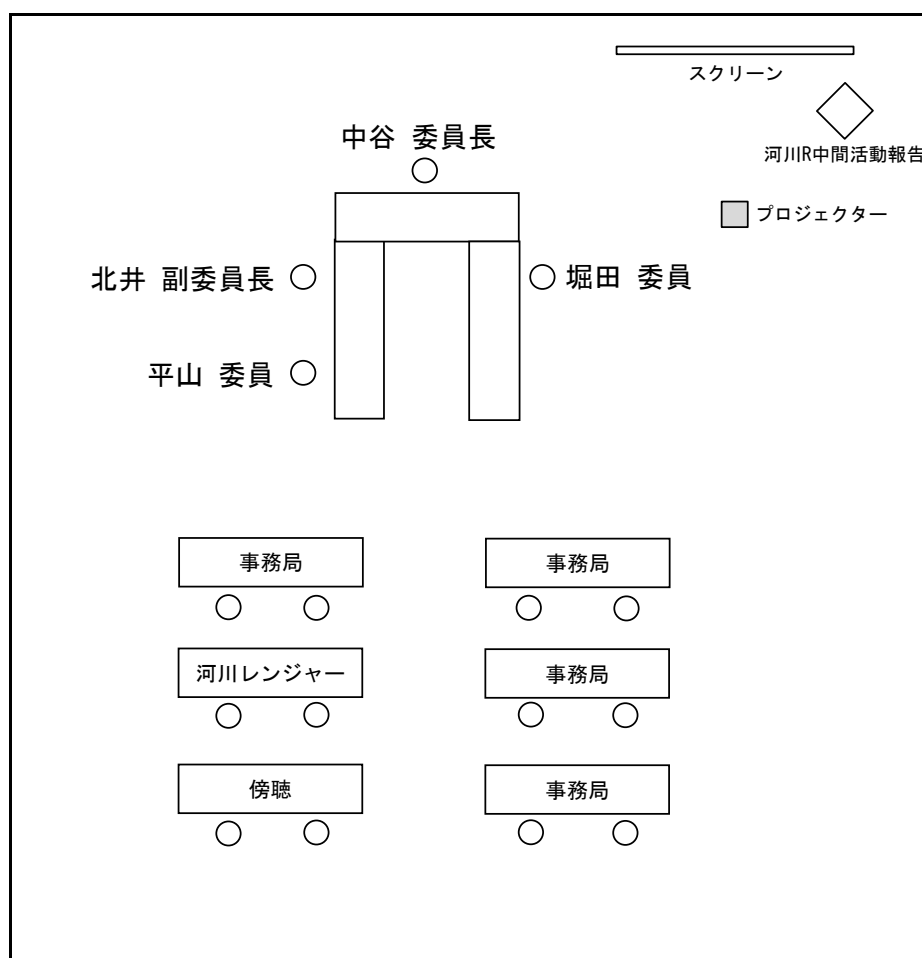
- 資料-1 第 60 回河川レンジャー制度運営委員会 議事要旨
- 資料-2 第 1 回 琵琶湖河川レンジャー・琵琶湖河川事務所 意見交換会 開催報告
- 資料-3 2020 年度 琵琶湖河川レンジャー中間活動報告書
- 資料-4 2020 年度の年間スケジュール

- 参考資料-1 河川レンジャーレポート Vol.41
- 参考資料-2 河川レンジャー制度運営委員会規約
- 参考資料-3 琵琶湖河川レンジャー活動要領
- 参考資料-4 琵琶湖河川レンジャー活動の視点の位置づけについて

## 第61回 河川レンジャー制度運営委員会 委員名簿

区分	分類	氏名	所属等	備考
河川レンジャー 制度運営委員会	学識経験者	委員長 なかに けいこう 中谷 恵剛	NPO法人瀬田川リバプレ隊	
		ひらやま なおこ 平山 奈央子	滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科	
	住民	副委員長 きたい かおり 北井 香	おうみ 淡海の川づくりフォーラム実行委員長	
	行政関係者 (河川管理者)	やまざき くにお 山崎 邦夫	滋賀県土木交通部 流域政策室 河川・港湾室 室長	欠席
ほった のぶゆき 堀田 伸之		国土交通省 琵琶湖河川事務所 所長		

### 配席図



(敬称略)

## 河川レンジャー制度運営委員会 事務局名簿

区分	氏名	所属等	備考
琵琶湖河川事務所	みた さとる 味田 悟	副所長（事業・管理）	
	こざお かずゆき 小澤 和幸	保全対策官	
	とだ かつし 戸田 勝士	管理課 専門職	
流域連携支援室	まつおか とおる 松岡 徹	河川レンジャーマネージャー	
	たけだ みゆき 武田 みゆき	スタッフ	
業務受託者	なかにし ふみなお 中西 史尚	河川財団 近畿事務所	
	おの まさお 小野 正雄	河川財団 近畿事務所	

## 第 60 回 河川レンジャー制度運営委員会 議事要旨

本会は、新型コロナウイルス禍における感染防止の観点から、事前に送付した委員会資料を議事に沿って個別に確認あるいは審議いただいた。また、審議結果、助言、意見等を事務局が整理し、委員に回答し閉会とした。

開催期間：令和 2 年 6 月 29 日（月）～7 月 17 日（金）

出席者：制度運営委員会委員：中谷、北井、平山、山崎、堀田

琵琶湖河川レンジャー：根木山、水上

事務局：琵琶湖河川事務所；小澤、戸田

流域連携支援室；松岡、武田

業務受託者；中西、寺井、井上、小野

(敬称略)

### 1. 議事

■ 委員長・副委員長の選出

■ 報告

第 59 回委員会以降の動きについて

■ 審議

2020 年度 河川レンジャー年間活動計画（案）の承認について

■ その他

(1) 今後のスケジュール（案）

(2) その他のご意見

### 2. 結果

#### (1) 委員長・副委員長の選出

琵琶湖河川レンジャー制度運営委員会規約第 7 条の規定に基づき、出席委員の互選により今年度の委員長、副委員長が選出された。

役職	選出	区分
委員長	中谷 委員	学識経験者
副委員長	北井 委員	住民

## (2) 審議

### ■ 2020年度 河川レンジャー活動計画（案）の承認について

○河川レンジャー2名の年間活動計画（案）が承認された。

○個別の意見・助言を以下に示す。

#### ➤ 根木山 河川レンジャーの活動計画について

##### ① 計画全体を見て

- ・新型コロナウイルスの影響もあり、制約が多い中、計画どおりの活動が難しい場面があるかもわからないが、関係機関とうまく調整を進め、各活動が実施できるよう期待している。

##### ② 守山市の人口構成の多い30代から40代の子育て世代へ向けた野洲川の利用促進

- ・野洲川の保全活動を持続的なものとし、少しでも拡大（参加人数だけでなくメニューも含めて）していくために、川遊び、草サッカーは大変有効な機会である。
- ・川遊び、草サッカーなどの機会に、参加者から様々な声を拾い上げるとともに、地元自治会をはじめとする地域の声（河川管理者に届いているものも含め）が活動の拡がりに繋がると良い。
- ・これまでに構築してきた守山市の担当部局との関係も活かし、地道に子育て世代に地域の歴史や防災情報へも広がる活動となることを期待している。
- ・公園の使用ルールについて、ルールそのものやルール作りについて、他河川の事例を参考にされても良い。

##### ③ 「野洲川クリーン作戦」の機会を生かした住民による樹木の伐採作業の場づくり

- ・適切に持続的な樹木管理を行っていくためには、今後は地域や民間の力が必要となってくると考えている中で、今年度の活動内容に住民参加による樹木の伐採作業があるのは、河川管理者としても有り難く感じるとともに、成果に大変期待している。
- ・地域との協働による持続的な樹木管理体制の構築に向けて、今後積極的に意見交換をしていけるとよい。

##### ④ 守山市環境学習事業への野洲川の保全活動の位置づけについて

- ・これまでの活動成果から、行政委員会の委嘱を受けられたことは、これまで実践を積み重ねてきた評価とを感じる。委員会の立ち位置も含め、河川管理者、地元自治体（守山市）、住民の三者連携をうまくコーディネートできるよう期待している。
- ・河川レンジャーとして関わってきた活動を守山市の環境学習事業に位置付けるとのことは良いアイデアである。
- ・市内の環境活動に関わる方々と一緒に作っていくのであれば、それらの活動を関連させられると良い。既存の活動を一緒に実施するというのではなく、困っていることや一緒に取り組むことの方が魅力的な学習になるという部分のみの連携が良い。例えば、野洲川と地域内の小さな水路、ホタルなどを一連の学びとして設計することなど。

#### ➤ 水上 河川レンジャーの活動計画について

##### ① 計画全体を見て

- ・新型コロナウイルスの影響もあり、制約が多い中、計画どおりの活動が難しい場面があるかもわからないが、意欲的に取り組んでいただきたい。
- ・地元の企業や学校と協働した取組について、今年度も継続して取り組んでいただける内容となっている。また、今年度の取組として「樹木伐採後の維持管理」も含まれ、成果に大変期待している。

- ・地域住民だけでなく、企業や学校などとも連携した活動について、継続していくことの困難さなど苦勞があるとは思いますが、うまく調整を図り活動していくことを期待している。
- ・新型コロナウイルスの影響もあり、規模を拡大していくことは現実的には難しいかもしれないが、現在コーディネートしている企業や学校以外の新たな協働者の発掘についても検討いただくと、野洲川全体での住民参加の川づくりの実現に向けて取組が進むと思われる。
- ・新型コロナウイルスの影響で時節柄難しいかもしれないが、ウォーターステーション琵琶を活用して活動成果の展示や、野洲川を軸にして守山市の担当部局や地元へアピールするなどの機会があるとよい。(河川管理や防災などの要素も適度に関係づけて)

## ② 野洲川清掃活動について

- ・活動規模だけが評価指標ではないが、これまでの実績から、今年度は活動者数が半減する(新型コロナウイルス感染防止に配慮)。過去の活動も踏まえて、規模縮小の中でも効果的な成果につながるよう、検討していただきたい。
- ・河川レンジャー活動として、本活動の参加人数、実施項目、清掃範囲、実施日時等を調整されているが、河川レンジャーがいなければ、この清掃活動は実施されなくなるのか？活動の継続性について気になる。
- ・「樹木伐採後の維持管理について試験的に取り組む」とあるが、具体的にどの部分が昨年度までの活動と違うのかを知りたい。
- ・実施項目の第2部「防災イベント」について、内容の詳細と河川レンジャーとしてどのような活動をされるのかを知りたい。

## ③ 地元中学校参加の川づくりについて

- ・YRPの意見交換会について、学校内で一つの対外的『いい活動』としてどれくらい認識されているのか。琵琶湖河川事務所の出前講座と関連付けるなど、「河川管理にこのように役に立っている」ということを学校全体で共有できる仕組みがあると良い。

※ YRP : Yasu river Restoration Project (野洲川復元計画) の略称。

本活動をスタートするにあたり、連携する中学校の生徒が命名。

## (3) その他のご意見

- 新型コロナウイルス禍の中、対面での機会は難しいが、河川レンジャーと制度運営委員会がフランクに意見交換できる機会を持ちたい。
- 河川レンジャーを増員するため、まずは積極的な広報の展開が必要である。
- 「河川レンジャー活動の理念・あるべき姿」について、琵琶湖河川事務所として、河川レンジャー(制度)に瀬田川、野洲川で具体的に何を期待するのか、いま一度『視点事例』を念頭に制度運営委員会と議論し共有していきたい。
- 「河川レンジャー活動の理念・あるべき姿」については、過年度より十分議論した中で現在の内容をとりまとめており、内容的にはこれで良い。一方で、新たに河川レンジャーになっていただく方にしっかりと「理念・あるべき姿」を理解していただくという観点から、資料としては字数が多く、読みづらいと感じるため、別途、箇条書きでエッセンスをまとめた資料(1枚程度)が作成できるとよい。

以上

## 第 1 回 琵琶湖河川レンジャー・琵琶湖河川事務所 意見交換会 開催報告

### 1. 概要

#### (1) 開催趣旨

この意見交換会は、河川レンジャーと琵琶湖河川事務所の各担当職員が、瀬田川・野洲川・琵琶湖に関わるものとして、それぞれの立場から語り合い、双方による情報提供・意見交換・活動提案等を行うことにより、今後のより良い川づくりに向けた機会とすることを目的に開催している。

#### (2) 今回のテーマ

##### 「野洲川中洲親水公園（あめんぼう）の利用促進について」

野洲川中洲親水公園（あめんぼう）完成後数年が経過し、主な利用状況としては「野洲川冒険大会～いかだくんだり～」(守山市)、野洲川河川清掃、なかす野洲川たんけん隊の活動（河川レンジャー）に利用されているが、地域住民による日常的な利用があまりない状況となっている。昨年度の河川レンジャーと河川事務所との意見交換会から話題に上っていて、河川レンジャーからも具体的に議論を進めたいとの希望もあり、今回は守山市の担当者にも参加していただき、「今後の利用促進に向けたアイデアだし」の意見交換を行うものである。

(参考) 令和元年度の意見交換会における野洲川中洲親水公園に関する課題、河川レンジャーの想い

#### 1) 河川レンジャーからの意見（前年度の意見交換会 令和2年1月14日）

守山市が占有している、「中洲親水公園あめんぼう」について、地元から、「親水公園としては利用制限が多く、整備されたのにほとんど利用されていない。」との声を聞いている。占有許可者の河川事務所から占有者に対して働きかけなどが出来ないか。あるいは利用促進の方法などがないか。良策はなかなかないのかも知れないが、PRしておきたい。

#### 2) 河川レンジャーとして今後の利用促進に向けた想い

「いい川づくり」の一歩として、野洲川中洲親水公園の利用促進に向けて、地元住民の想いと行政（琵琶湖河川事務所、守山市）の課題を聴き、河川管理者（琵琶湖河川事務所）、守山市、地元住民がともに考え、活動するように橋渡し役として活動していきたい。

(3) 日 時：令和2年9月8日（火）15:15～17:00

(4) 場 所：琵琶湖河川事務所1階 第1会議室

(5) 出席者：

琵琶湖河川レンジャー：根木山、水上

琵琶湖河川事務所：堀田所長、味田副所長、小原課長（河川環境課）、松盛課長（占有調整課）

家村専門官（占有調整課）、小澤保全対策官、戸田専門職（管理課）

川端出張所長（野洲川出張所）、田中係長（野洲川出張所）

守山市都市経済部：川端次長、木下係長

業務受託者：寺井、中西、松岡、井上

(敬称略)

## 2. 開催結果

### (1) 話題提供

- 河川レンジャーより、野洲川中洲親水公園を拠点とした活動事例の紹介があった。
- 野洲川中洲親水公園の利用促進について、河川レンジャー、河川管理者である琵琶湖河川事務所、公園の管理者である守山市が、各々の立場から、実情に対する感想や、思いを出し合った。詳細は以下に示す。
  - 野洲川ふれあい広場の利用者は、野洲川中洲親水公園および野洲川川田河川公園と比べて多い結果が得られているが、この要因は何が考えられるのか。
    - ⇒野洲川ふれあい広場には、公園の利用ルールに関する看板を設置していないことから、利用者の自由度が相対的に高いことが考えられる。また、①人口密度の高い最寄りの駅から近く、利便性が良いこと、②利用形態としてバーベキュー利用者が多いこと、③公園の供用期間が他の公園より長く、住民の認知度が高いことも要因と考えられる。
    - ⇒野洲川中洲親水公園は、利用ルール（制限）の看板を設置しているため、利用希望者にとって利用しにくい状況にあるかもしれない。
  - 野洲川中洲親水公園の利用ルールについて、守山市ではどのような考えで設定されたのか。また、設定する際に地域の要望を反映されたのか。
    - ⇒守山市内の都市公園の利用ルールと同様の考え方で、公園利用者の安全に配慮し、事故が起こらないよう公園の利用ルールを設定したと考えられる。野洲川中洲親水公園は使用用途が少し違うため、それを踏まえて考えていく必要があるかもしれない。
    - ⇒設定にあたっては、地域の要望ではなく、守山市独自で検討した。

### (2) 意見交換

意見交換については水上河川レンジャーの進行のもとで実施。

#### 1) 野洲川中洲親水公園の利用状況及び今後の利用について

- 本公園は、地域の活性化を主眼に置いた、かわまちづくり支援制度の一環で整備した。しかしながら、現在の公園利用ルールの内容は、利用に対する制限が多く、利用者が少ない状況である。今後は、地域の方が利用しやすい形態にしていく必要があると思う。例えば、当該河川公園を守山市の歴史や観光スポットに関するフットパスコースに設定するなど、様々な知恵を出し合いながら、公園利用ルールの緩和ができればと思う。
- 本公園では魚釣りが禁止されている。利用形態の主なイメージは、“琵琶湖＝魚釣り”と思う。
- 野洲川は自然に囲まれた場所であり、様々な場所で利用できると思う。本公園の利用者を増やすために“ここに来れば、「まるまる」ができる”などのPRが必要と思う。
- 水辺に近づきやすいスロープも整備されている。それらを活かした利用も考えていってもよいのではと思う。

#### 2) 野洲川中洲親水公園の利用促進（案）について [アイデア出し]

- 根木山レンジャーが守山市環境学習事業と連携される際に、野洲川中洲親水公園の利用促進を積極的に行って頂き、子どもたちの河川愛護の意識醸成につながればと思う。また、琵琶湖河川事務所も全面的に協力したいと思う。
  - ⇒地元の商工会、守山市の活動団体に対して、本公園の利用を勧めてはどうか。



- 本公園の近隣に位置する“中洲小学校”にアンケート調査を実施してはどうか。
  - ⇒小学校 1～3 年生は川遊びに関する学習がないので、ワンド学習などを実施できればと思う。
  - ⇒小学校と連携し、水生生物調査を実施できればと思う。(以前は服部大橋まで出向いて野洲川の学習を行っていたが、野洲川中洲親水公園の供用開始以降は実施していないようである。)
  - ⇒小・中学校の出前講座と連携し、河川管理者が講師として参加できればと思う。
- 地域住民への広報に関しては、守山市の市報(毎月 2 回発行)や SNS を利用頂ければと思う。
  - ⇒広報する際は、利用を促進できるよう、アピールしたい利用方法をイメージしやすい内容で伝えることが良いと思う。
- 野洲川中洲親水公園の運用ルール(案)を検討するうえでは、地域の意見を反映してほしい。
- 野洲川中洲親水公園の広い空間(高水敷)を利用したイベントを検討できればと思う。
  - ⇒イベントの検討にあたっては、地域住民の公園への親しみを醸成することにより、利用者の確保につながると思うので、地域住民の利用を重点にした内容が良いと思う。

### 3) 今後に向けて

- 今後も野洲川中洲親水公園の利用促進に向けた課題について、河川レンジャー、河川管理者、守山市都市経済部との意見交換を行う。
- 次回の意見交換会(今年度開催予定)は、今回の意見を踏まえ、河川レンジャー、および各行政機関が野洲川中洲親水公園(あめんぼう)の利用促進のためのアイデア案を持ち寄り、その内容に関する議題とする。



意見交換会の様子

以上



令和2年9月8日

第1回 琵琶湖河川レンジャー・琵琶湖河川事務所  
意見交換会資料（抜粋）



## 野洲川における琵琶湖河川レンジャー活動

◆目次

根木山 河川レンジャー活動 .....	1
水上 河川レンジャー活動 .....	4

## 住民グループ「なかす野洲川たんけん隊」の立ち上げおよび活動支援（2015年～）



### ◆経過

地域（中洲学区）に入っ  
て、住民の声を聴くと、  
ベテランの方々は、かつ  
ての旧野洲川において、  
子ども時代に、異年齢集  
団で野洲川で遊んだ体験  
をもつ人が少なくない。  
また、いまの子どもたち



にも、野洲川で遊んでほしいと望んでいる。そうした住民の声を受けて、平成25年度（2013）より守山市と国交省によって「かわまちづくり」として、現在の野洲川中洲親水公園あめんぼうの整備事業がはじまった（緩傾斜護岸など低水路に近づけるように）。整備事業に併走して、地域の中で、さまざまな方々にお話しを聞いていると、住民の願いとはウラハラに、守山市内の小学校では、子どもたちに「子どもだけで、野洲川に遊びに行ってはいけない」

という指導をされていることがわかった。特に、中洲小学校の児童は、毎年1回、地域住民の協力を得て実施されている「野洲川学習」において、野洲川で活動することの楽しさを知っているものの、そのままでは、せっかく親水公園が整備されても、子どもたちは、野洲川で遊べないということがわかった。

そこで、「それでは、子どもたちが野洲川で遊ぶための見守りをするグループをつくってはどうか」というアイデアを、地域住民に話して回っていると、3人の中洲学区住民が協力するよ、と申し出てくれた。2015年6月、住民グループ「なかす野洲川たんけん隊」が発足した。当初2年間は、子どもを預かって野洲川での体験学習をする活動を行っていたが、3年目からは、子どもの保護者のみなさんと一緒に運営する体制にシフトした。また2017年から3カ年にわたり、守山市市民提案型まちづくり支援事業に採択され、野洲川の活動を実施し、広報もりやま（2016年）や、BBC 守山ニュース（2020年）でも取材・紹介いただいた。

### ◆主な活動内容

夏は、川遊びオープンデーとして、大人の見守り役を配置し、子どもだけでも参加できるイベントを実施。

冬は、河川管理者による「樹木伐採（公募）」に応募して、河川保全活動を実施。

春、秋は、植物調査や、樹木をつかった工作などの学習活動を実施。

### ◆活動実績

2019年度：「川遊びオープンデー」3回実施し、子ども55名、大人37名参加。「野洲川の樹木伐採」を3回実施し、子ども40名、大人24名参加。樹木6本、重量339kgを伐採。「野洲川学習」を7回実施し、子ども56名、大人53名参加。（参加人数は述べ数）

### ◆河川レンジャーとしての役割

野洲川での川遊びは、ダイナミックで、親子連れにとっては魅力的な活動で、守山、吉見学区からの参加親子も増えている。ただし、ケンもあるため、専門家の協力の要請や、ライフジャケットなどの手配、中洲会館へのAED使用の許可、傷害保険の加入、活動資金獲得などのサポートをしている。

## あめんぼうの利用促進策「草サッカー＆ゴミひろい」（2019年～）



### ◆経過

平成30（2018）年4月に全面供用開始されて以降、野洲川中洲親水公園あめんぼうの日常利用があまり進まない状況があり、河川レンジャーとして、利用促進に取り組んできた。当初、守山市まるごと活性化プラン（2014年度～）としてスタートした中洲学区による「野洲川プロジェクト」にもオブザーバー参加していたが、

なかなか具体的な活動が実行されにくい状況があり、2019年度より、「川遊び」よりも、参加のハードルの低く、高水敷の芝生の広場を活用した利用方法として、「草サッカー」を試行することにした。当初、公園掲示板に「サッカーは禁止」とあることから、控えめに実施していたが、2019年11月の「野洲川クリーン作戦」にあわせ、中洲会館をとおして、公園管理者に照会をおこない、使用して構わないという許可をいただくことができた。2020年度は、この草サッカーにあわせ、短い時間のごみ拾いを行う計画を立て、「淡海を守る釣り人の会」から備品などを借用して、1回だけ試行した。子どもたちは、ごみ拾いにも積極的に楽しく参加していた。現在、コロナウィルス感染症の状況と、夏場の熱中症対策も含め、実施を見合わせている状況にあるが、今後は、毎月1回のペースで、「草サッカー＆ごみ拾い」を定期的実施していく方針。

### ◆実績

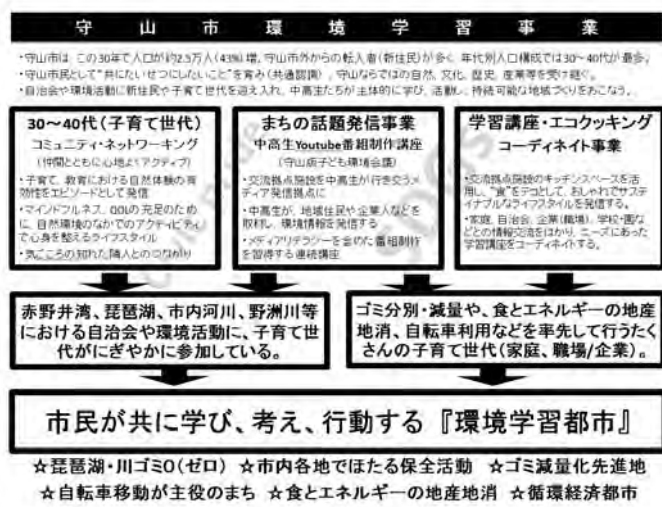
2019年度：「草サッカー」を7回実施し、参加者147名（述べ）

### ◆河川レンジャーとしての役割

年間をとおして、野洲川中洲親水公園あめんぼうを利用できる機会を、住民に提供する。芝生の広場は、サッカーをするのに適した環境であり、親子連れで楽しく、満足度の高いレクリエーションの機会となる。また、それにあわせ、手軽にできる河川保全活動として、ごみ拾い活動もあわせて実施することで、住民にとっての河川保全活動に参加するきっかけと習慣づくりをはかる。また、年2回実施されている「野洲川クリーン作戦」との相乗効果もはかる。野洲川において、日常的に、住民が利用し、かつ、保全活動にも参加するそんな姿を目指す。



守山市環境学習事業との連携「住民参加の河川保全活動」を目指す（2020年～）



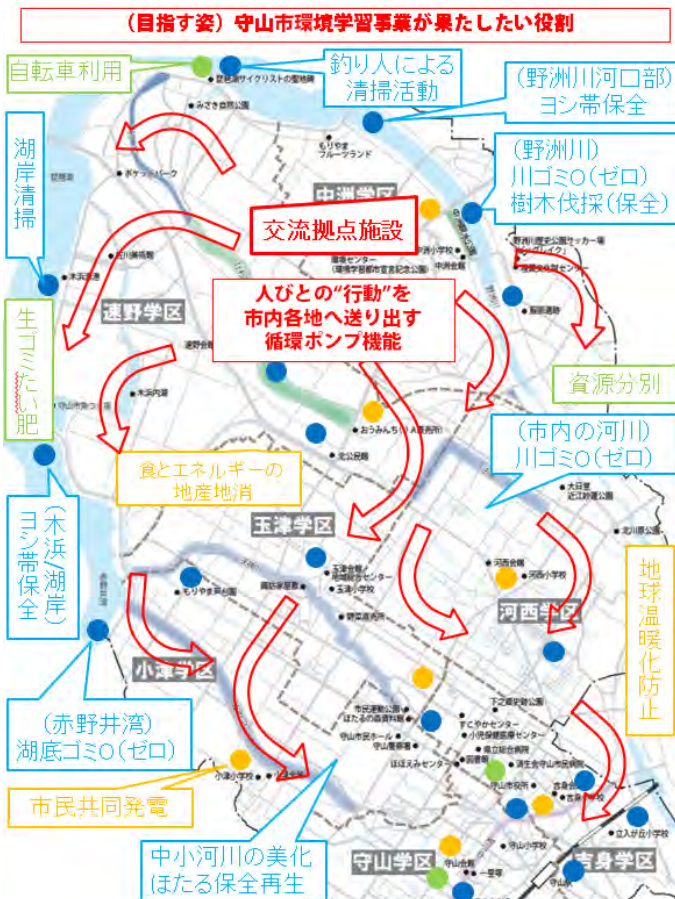
◆経過

私が、河川レンジャーとして活動している守山市中洲学区では、新環境センターが2021年10月に竣工する予定で、それに先立ち、守山市では、2017年11月に「守山市環境学習都市宣言」がなされ、また、2021年4月には、新環境センターのとなり、環境学習都市宣言記念公園・交流拠点施設がオープン予定であり、そこを拠点に、新たな「環境学習事業」が開始されることになっている。

今年2月に発足した「環境学習事業推進委員会」に、琵琶湖河川レンジャーとして参画させていただいており、そこでは、中洲学区長、中洲学区内のNPO、中洲学区住民（50代女性）、市内の主要な環境団体、消費者団体のメンバー、および、企業、学校・教育関係者、農業関係者など、多様な委員が参画し、事業策定に向けて、前向きな検討がなされている。

現在、協議されているのは、

- ・守山市内の河川の維持管理に関わる自治会や、環境団体においては、担い手の高齢化が進んでいる。
- ・守山市は、30～40代が年代別人口構成において、もっとも多い（この年代で、約2.4万人、全人口の3割近くを占める）ものの、この年代が、自治会活動や環境活動に参加する姿があまり見られないのが課題。
- ・環境学習事業では、中洲学区でできる「交流拠点施設」を拠点に、30～40代の子育て世帯にターゲットを絞り、この世代が集まるためのチャレンジを、さまざまな住民、団体、企業が協力してあたる。そこで集まってきた30～40代の子育て世帯とのネットワークを構築し、市内各地の河川保全活動など、自治会や環境団体の活動に、若い子連れ世帯が参加するような仕組みづくりを行う。



といったことである。私は、河川レンジャーとして、守山市環境学習事業とも連携して、野洲川の住民参加の保全活動に、30～40代の子連れ世帯の参加を促進したいと考えている。野洲川のみならず、市内に数ある中小河川においても、住民参加による維持活動の持続的な展望に課題があることから、課題意識を共有する市内の関係者のネットワークを力に、また、「新環境センターを単なるゴミ捨て場にしてはならない」という中洲学区住民の願いにも共感し、環境学習事業および野洲川の住民参加の保全活動にチャレンジしていく。野洲川中洲親水公園あめんぼうは、そもそも「かわまちづくり」として整備されていることから、こうした中洲地区および守山市内全域におよぶ多様な主体とともに、「のどかな田園都市」ならではの暮らしの実現、「琵琶湖・赤野井湾へ流入する川ゴミ〇（ゼロ）」と言った取り組みに連携して、野洲川の利用と保全を進めていくことが必要ではないか。

# 野洲川河川清掃

～皆から愛される野洲川をめざして小さな一歩から～

行政、地元自治会、地元企業が別々に行っていた野洲川の清掃活動を一緒に行うよう河川レンジャーが繋がりました



地元企業(レイマック)  
CSR活動で河川清掃を実施

野洲川で活動している住民

地元自治会

住民・行政(琵琶湖河川事務所)  
をつなぐ活動

河川レンジャー  
住民と行政の想いを聴く

野洲川クリーン作戦  
(河川清掃)  
行政(国交省、守山市)

行政と住民が共に活動する野洲川河川清掃

## 野洲川河川清掃



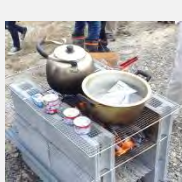
## 水生生物調査



## 防災体験

野洲川中洲親水公園(あめんぼう)の前の水辺で土のうづくり体験や防災かまどによる非常炊き出し体験等防災意識の向上にもつながる防災体験活動も行っています。

### 防災かまどによる非常炊き出し



### 土のうづくり体験



## 休日における野洲川中洲親水公園等の利用者の状況

野洲川の高水敷を活用した3つの公園・広場について、休日の利用状況を調査した。



野洲川中洲親水公園



野洲川川田河川公園



野洲川ふれあい広場



◆調査日 令和2年 4月25日(土)

野洲川中洲親水公園（守山市）

- ・ 駐車場には数台車が駐車している。
- ・ 釣りをしている人が数名いた。
- ・ 公園での利用者は全くなかった。



野洲川川田河川公園（守山市）

- ・ 利用者はなかった。



野洲川ふれあい広場（野洲市、守山市）

- ・ 利用者約40名



◆調査日 令和2年 5月5日(火) 子供の日  
野洲川中洲親水公園（守山市）



- 駐車場の車の台数は13台。
- 利用者 20名程度（その内 公園利用者 2名）  
散策路や管理用道路でスケートボード遊びをしている人が数名。  
川の中での釣り人が2名。  
駐車場の車で食事をしている人が数名。

野洲川田河川公園（守山市）



- 公園利用者 約30名  
公園内でボール遊びや食事をしている人が数十名。

## 野洲川ふれあい広場（野洲市・守山市）



- 広場では家族連れの人達（数グループ）がテントを張ってボール遊びや食事をしていた。
- 今回調査した3公園で一番多い80名を超える広場での利用者であった。

### （感想）

野洲川ふれあい広場には遊具施設等はなく野洲川中洲親水公園と同じで広場として整備された公園であるが、広場での利用者が多く見られた。この調査結果は野洲川中洲親水公園の利用促進を進めるにあたっての何かヒントがあると思った。

河川レンジャーが実施した野洲川利用者へのアンケート結果  
（平成28年度～平成30年度）



◆目次

根木山 河川レンジャー活動 .....	1
水上 河川レンジャー活動 .....	9

平成28年度 野洲川の水辺整備に対する利用者意向調査



野洲川の水辺整備に対する利用者意向調査(野洲川中洲親水公園にて)

琵琶湖河川レンジャー 根本山恒平

▼回答

no.	質問1) 利用目的	具体的に	質問2) 水辺整備に対するご意見	質問3) プログラム	性別	年齢	お住まい	同行者	同行者	同行者	同行者	※調査日
1	4. イベントへの参加	やすたん	車がとめられるのは良い。そのことを知ったら、たくさん人が来るようになると思う。	(やすたんのような) こういうプログラムがあるよ、ありがたい。水辺は危険もあるし、自分だけで子どもを連れて来るとは勇気がいるけれど、こういうプログラムだと、子どもを水辺に連れて行くことができる。子どもが自然にふれられる機会があっとうれしい。	男性	30~40代	守山市	配偶者	子ども			8/20
2	4. イベントへの参加	やすたん	どこまで行ったら危ないか、わからない。深さとか、わかるようになっていいるとありがたい。釣りの人がいたら、ルアーとか投げたい。危ないよね。川遊びできるのはありがたい。	特になし	女性	30~40代	守山市	子ども				8/20
3	4. イベントへの参加	やすたん	(砂洲について) 草ぼうぼうだね。砂浜ならよいんだけど。服部(大橋付近)は、(砂洲が) シャリで草がはえてないし、水辺らしい。ほだしにもなれる。あと、駐輪場のところだけでも、パラソルだと自転車倒れやすいので、アスファルトにしてほしい。	特になし	男性	50~60代	守山市	なし				8/20
4	4. イベントへの参加	やすたん	水辺の泥がない状態ができたらいいな。	釣りができるイベントがあるといいな。あゆづり、あみを使う。野洲川くんだり体験とか、小さい流れが大きい川になっていく過程が学べるとよい。	男性	30~40代	野洲市	子ども				8/20
5	4. イベントへの参加	やすたん	斜面が川へ降りやすいのでうれしい。日陰ができる場所があるといい。栗原は、スポーツができるが、この公園までつながるといいな。サイクリングでつながるといい。	特になし	女性	50~60代	守山市	子ども				8/20
6	4. イベントへの参加	やすたん	親水公園なんだから、やっぱり、トイレ、水道、足などの洗い場、ベンチなど、公園としての最低限の設備がほしい。川の中に、万一、流されたときのためのなにかがあるといいかな。あと、木陰が必要。防災設備としても使えるカマドベンチとかはどうですか？ 遊具とはなくてもよいとおもう。せつかくの自然だから、このままで良いと思う。市長が自転車利用のことを言っていた。サイクリングロードできるとよいわね。	特になし	女性	30~40代	守山市	子ども				9/11
7	4. イベントへの参加	やすたん	日陰があるといいな。犬の散歩とかには、いいと思う。先生のドッグラン(リードをはずせる)とかができたら、みんなくるかも。この辺だと、琵琶湖沿いにいくつもあるけど、設備が整ってなかったり、マナー・ルールがわるかったり、せまかったり、草ぼうぼうだったり、もうひとつのところがいい。	特になし	女性	50~60代	守山市	子ども				9/11
8	4. イベントへの参加	やすたん	芝生にしてあるけど、もともと、草原だったし、すぐに雑草だらけになるんちゃうか。	特になし	男性	30~40代	守山市	なし				9/11
9	4. イベントへの参加	やすたん	こんなところがあるんだ、という感じ、きれいななっていい。子どもも水遊びできて良いと思う。	キャンプみたいなことで、良い経験させてもらっていて、ありがたい。親だけでは、子ども、そんな体験させてあげられないので。	女性	30~40代	守山市	子ども				9/11
10	1. 河川敷での遊び	カヌー	良く通るので、なんかできていいるなということを知った。もう3回くらい。スロープがあったて、車もとめられるので、カヌーにはありがたい。	特になし	男性	30~40代	草津市	なし				9/11
11	1. 河川敷での遊び	バス釣り(ボート)	すぐ近く(中洲学区内)なので、知っていた。車がいれられるのは、すごくいい。	特になし	男性	10~20代	守山市	なし				9/11

12	1.河川敷での遊び	バス釣り	釣りをしに自転車で走っていたら、あつたの で、入ってきた。水辺に近づけるのでこんな感 じでいいと思う。ちよつと前に台風があつて水 が増えたから、バスもあがつてきている。ここ 以外だと落差工のところ釣りすることある。	特になし	男性	10~20代	栗東市	なし		9/25
13	1.河川敷での遊び	バス釣り	車で来た。今日で10回目くらい。(幸浜大橋 を)よく通るので分かった。バス釣りにはかなり いい。まず、車から水辺までのアクセスがかな りいい。ほかだと、10分以上歩いて移動しない といけないとがさ。バイクで行けないとこ ろとか。ここは、静かだし、ロケーションがすこ ろいい。魚は数はそんなにないけれど、釣っ ていて気分がいい。日野川にも行くけど、こつ ちのほうがいい。今日は、(胴長、ライフジャ ケットつけて)川の中から釣てるけど、うまわ でやるときもある。人によっては、カヌーで釣り する人もいますよ。(利用客が増えたらどうで すか?という質問に対し)カヌーがいたら、ル アーは投げない。多少、アラストレーションにな るかな。(砂州の大きさについて質問に対し) こんな感じでよと思う。この間は、テントはっ てやつた。そういうスペースがあるほうがよ い。	特になし	男性	10~20代	草津市	知人・友人		9/25
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										

平成29年度 野洲川の水辺整備に対する利用者意向調査



野洲川の水辺整備に対する利用者意向調査

日程 平成29年7月2日

時間 10:00～13:30

場所 野洲川親水公園

対象 第36回野洲川冒険大会参加者

質問1 本日野洲川に来られた目的は何ですか	質問2 野洲川水辺整備に対する御感想や御意見、改善を求められることがございましたら教えてください	質問3 野洲川の水辺で実施して欲しい学びや遊びのプログラムがあれば教えてください	質問4 あなた自身のことについて教えてください
1 4. イベントの参加(冒険大会)	以前め比べてキレイに整備され、ふらっと遊びにきやすくなった。 川がキレイになれば中に入るなどしたいが...	魚釣り、生き物探し	性別:女性 年齢層:10～20代 お住まい:守山市 同行者:子ども
2 4. イベントの参加(冒険大会)	かき氷がうれしい	およぎたい。つりがしたい。	性別:女性 年齢層:10～20代 お住まい:大津市 同行者:親
3 4. イベントの参加(冒険大会)	かき氷がうれしい楽しみです	およぎしたい。つりがしたい。	性別:女性 年齢層:10～20代 お住まい:大津市 同行者:親
4 4. イベントの参加(冒険大会)	子どもたちが遊べる場所が増えると嬉しい。	魚釣りがしたい。	性別:女性 年齢層:30～40代 お住まい:大津市 同行者:子ども
5 5. その他(イベント見学、イカダくたり)	未記入	投網打ち体験、鮎つかみは?	性別:男性 年齢層:50～60代 お住まい:守山市 同行者:子ども
6 4. イベントの参加(その他)	川の周囲の整地など。広場等を増やしてほしい。	魚つかみのイベント	性別:男性 年齢層:30～40代 お住まい:水保町 同行者:子ども
7 4. イベントの参加(冒険大会)	特に無いです	特に無いです	性別:女性 年齢層:30～40代 お住まい:守山市 同行者:知人
8 4. イベントの参加(冒険大会)	親水護岸を作って気軽に河に接することができたらいいと思います。 (安全面でも問題があると思いますが)	カヌーやボートなど	性別:男性 年齢層:30～40代 お住まい:守山市 同行者:なし
9 4. イベントの参加(その他)	水や伝記があればなお良いと思います	カヌー教室やイカダあそび魚釣りなど	性別:男性 年齢層:30～40代 お住まい:守山市 同行者:知人・友人
10 4. イベントの参加(冒険大会)	トイレや水道、電気がないので公園としては使いにくいです	川の歴史を楽しく教えてほしい 体験型で	性別:男性 年齢層:30～40代 お住まい:守山市 同行者:なし
11 4. イベントの参加(冒険大会)	日常遊びに来れるようにしてほしい	魚つかみのイベント	性別:男性 年齢層:30～40代 お住まい:守山市 同行者:知人・友人
12 5. その他(模擬店)	詳しい地図(親水公園)が調べにくい 普段からレジャーなどで利用できるか判断しにくい	水辺で生息している魚等(あゆつかみ体験) イベントを通して子ども達に伝えてほしい	性別:女性 年齢層:30～40代 お住まい:守山市 同行者:知人・友人、子ども
13 4. イベントの参加(冒険大会)	駐車場(ゴール)の整備をされている。GOOD	カヌー体験	性別:男性 年齢層:70歳～ お住まい:守山市 同行者:友人
14 4. イベントの参加(冒険大会)	未記入	川(水辺)の生物(魚や虫)の勉強 (虫取りなどを通じて)	性別:男性 年齢層:30～40代 お住まい:大津市 同行者:子ども、配偶者
15 4. イベントの参加(冒険大会)	もっと工夫がいる	水あそび	性別:女性 年齢層:50～60代 お住まい:京都府南区久世 同行者:配偶者
16 4. イベントの参加(冒険大会)	ルール読みました ここは何をする公園ですか?	つり	性別:女性 年齢層:30～40代 お住まい:守山市 同行者:子ども、配偶者
17 4. イベントの参加(冒険大会)	広場が広い 草刈り 遊具	子供向けイベント(魚つり)	性別:女性 年齢層:30～40代 お住まい:守山市 同行者:知人・友人、子ども
18 4. イベントの参加(冒険大会)	トイレを作ってほしいです スタート地点にほしいです 駐車場を多めに確保してほしいです 建て看板を多めに作ってほしいです	プール 魚つり	性別:女性 年齢層:30～40代 お住まい:彦根市 同行者:知人・友人、配偶者
19 4. イベントの参加(冒険大会)	トイレの整備 水辺にもっと近寄れる整備 つり場	未記入	性別:女性 年齢層:30～40代 お住まい:守山市 同行者:知人友人、子ども、 配偶者
20 4. イベントの参加(冒険大会)	・スロープだけではなく階段も有れば良いと思います。 ・低くても良いので小さい子供が遊んでも大丈夫な様に柵があると (水辺に)良いと思います。	・親子で参加できるボートレースや追い込み漁大検等 ・河辺の虫や生物(植物も)などの採取、調査等	性別:女性 年齢層:30～40代 お住まい:守山市 同行者:子ども
21 4. イベントの参加(冒険大会)	やす川につかれるようにして下さい やす川が見えるようにして下さい	アビールをもっとして下さい 小さなボートレース	性別:女性 年齢層:30～40代 お住まい:守山市 同行者:子ども、配偶者
22 4. イベントの参加(冒険大会)	プールが良かった 水中遊具を増やしてほしい	未記入	性別:男性 年齢層:30～40代 お住まい:守山市 同行者:子ども



23	4. イベントの参加(冒険大会)	駐車場の整備 入る時の道が分かりにくい	子どものボートレース おいこみりょう漁	性別:女性 年齢層:30~40代 お住まい:守山市 同行者:子ども
24	4. イベントの参加(冒険大会)	草をきれいにかけて芝生とかで あそべるようにしてほしい	未記入	性別:女性 年齢層:30~40代 お住まい:守山市 同行者:子ども、配偶者
25	4. イベントの参加(冒険大会)	河原で遊べるようにしてほしい	子供が川の水で遊べるように	性別:男性 年齢層:30~40代 お住まい:守山市 同行者:子ども、親、配偶者
26	未記入	草刈り	未記入	性別:男性 年齢層:30~40代 お住まい:守山市 同行者:子ども
27	4. イベントの参加(冒険大会)	未記入	サイクリング大会	性別:男性 年齢層:50~60代 お住まい:守山市 同行者:知人・友人
28	4. イベントの参加(冒険大会)	川の近くまで車が入れるようにしてほしいです キャンプ場等	魚取り大会等	性別:男性 年齢層:30~40代 お住まい:守山市 同行者:知人・友人、子ども
29	4. イベントの参加(冒険大会)	テニスコートを増やして欲しい 無料で使用したい 草刈りをしてほしい	生き物探し	性別:女性 年齢層:10~20代 お住まい:守山市 同行者:知人・友人
30	4. イベントの参加(冒険大会)	トイレの設置(スタート地点)	生き物散策	性別:男性 年齢層:30~40代 お住まい:京都市 同行者:知人・友人、子ども、 配偶者
31	4. イベントの参加(冒険大会)	水辺の草をかってほしい	きゅうじょくんれん的なのをしてほしい さかなつり	性別:女性 年齢層:30~40代 お住まい:守山市 同行者:子ども、配偶者
32	4. イベントへの参加(冒険大会)	昔よりきれいに整備されているけど、時間帯に制限があったり、入りづらくなった。 前は自由に入りた放題でそれはそれでよかった。 今のほうがよいとは個人的に感じる。 トイレが、あの上にはかないのは不便。	カヌー体験など	性別:女性 年齢層:30~40代 お住まい:守山市 同行者:子ども、配偶者
33	4. イベントへの参加(冒険大会)	きれいにしてるけど(日よけがなく)夏は利用するには暑い	イベントの日以外でも何かやっているのかがわかればうれしい	性別:男性 年齢層:30~40代 お住まい:守山市 同行者:子ども、配偶者
34	4. イベントへの参加(冒険大会)	イカダくんだりをきっかけにこの場所を知った。 家族連れで来ようと思うと、日影やベンチがあればうれしい。	川遊び(流れがゆるやかで遊びやすいかなという印象) 生き物さがし 野洲川にいる生き物の種類を知れるイベント	性別:女性 年齢層:30~40代 お住まい:守山市 同行者:子ども、配偶者
35	4. イベントへの参加(冒険大会)	今日はじめてきました。 野洲川は大きいので、個人では水辺遊びははずらい印象。 ベンチや日よけがあれば遊びやすいと思う。 場所についての表示(火、バーベキュー可能かどうか)などの案内があると嬉しい。	カヌーなどの大きな川でしかできないような体験	性別:女性 年齢層:30~40代 お住まい:守山市 同行者:子ども、配偶者
36	4. イベントへの参加(冒険大会)	木かげ、日かげがほしい。 もっと木があったらいいと思う。	みさき公園でやってるような(小学校低学年向けの)イベント (ここならでの、というと思いつくのはむずかしいが・・・) 川に入るのは、ちょっとこわいかんじもする。 どろんこあそび	性別:女性 年齢層:30~40代 お住まい:守山市 同行者:子ども、配偶者
37	4. イベントへの参加(冒険大会)	自転車道が途中で一般道になるので、つながってほしい	カヌー体験 花火大会 今日されているような大プール遊び	性別:女性 年齢層:30~40代 お住まい:守山市 同行者:子ども、配偶者
38	4. イベントへの参加(冒険大会)	ただ、きれいに整備しているだけでなく、芝生の広場も、その 広さ、なにもないことを逆に生かした使い方が生みだされたら いいと思います。	イベント日以外の夕暮れ時に行った時に、 静かで川から吹く風が気持ちよかったです、 ヨガ教室などいいと思いました。	性別:女性 年齢層:30~40代 お住まい:守山市 同行者:子ども、配偶者
39	4. イベントへの参加(冒険大会)	6才の子 あそべる遊具ある方がつれて来やすいし、 川に近い、流れがもうすこしゆるやかだったら、	せっかく近いので、魚に関すること 魚つかみ 虫にかんすること	性別:女性 年齢層:30~40代 お住まい:野洲市 同行者:子ども
40	4. イベントへの参加(冒険大会)	草刈しないと水辺に近づけないよね	ヨシを使った工作ができる	性別:女性 年齢層:30~40代 お住まい:守山市 同行者:知人・友人、子ども

平成30年度 野洲川親水公園（あめんぼう）について



## 野洲川中洲親水公園(あめんぼ)及び野洲川河川清掃のアンケート。

### 野洲川親水公園(あめんぼ)について

#### (自治会)

- ・電気、水道がないので活用範囲が縮小されるのではないか
- ・野洲川の水の中に入って遊べるようなイベント（田舟、カヌー、魚釣り等）がたくさんあるといい
- ・普段利用している人がほとんどない
- ・「あめんぼう」についてはもっと多くの方に知ってもらえる様な取り組みが必要だ  
と思う
- ・常時あめんぼうでバーベキューができるとよい

#### ((株) イマック)

- ・以前は三輪自転車、バイクも土手道を走行できたが通れなくなった。
- ・自転車も入り口にポールがあり通りづらい。
- ・もっと有効活用できる公園にしてほしい。
- ・いつも入り口が閉まっていて使えない。駐車場も使えない。
- ・普段からバーベキューなどができるようにしてほしい。

## 野洲川河川清掃活動について

### (自治会)

- ・非常に良い取り組みだった
- ・来年度以降も続けるとよい・もっと参加者があればよい

### (株) イマック)

- ・イマックで行っている清掃活動は野洲川だけでなく横の川の清掃も行ってた。
- ・水の中に落ちているゴミも回収した方がいいのでは安全の配慮は必要になるけれども
- ・1時間の活動時間では行ける範囲が少ないので時間をもう少し増やすか活動範囲を振り分けて行うなど、もっと広範囲ができるのではないかな。
- ・清掃活動後のバーベキューは河川敷で行ったので芝生の横でできたならもっといい。
- ・次回以降もし行われるならば橋の下でバーベキューをできるようにしてほしい。  
夏ならば日陰がないと困るのと雨の時にすこしの雨なら実施できるので。
- ・参加された方みんなできれければもっと交流ができると思いますが
- ・今回はそれぞれでバーベキューをしていた感じなのでほとんど交流ができなかった。  
いろいろと事情はあると思いますが・・・
- ・防災訓練などもできたのでよかったと思います。



## 2020 年度 琵琶湖河川レンジャー中間活動報告書

◆目次

根木山 河川レンジャー中間活動報告 .....	1
水上 河川レンジャー中間活動報告 .....	6



テーマ： 野洲川の川守りをつなぐ

■中間活動報告書

氏名： 根木山 恒平

作成日： 2020年11月30日

	年間活動計画	活動結果				
<p>背景と昨年度の課題</p>	<p>野洲川下流部のうち守山市中洲地区では、地域の長年の要望を受けて、守山市と国交省により野洲川中洲親水公園が整備されました。河川レンジャーとして支援してきた住民有志グループ「なかす野洲川たんけん隊」も住民主体の活動をされています。課題としては、せっかく整備された親水公園の住民利用が少ないことがあります。</p> <p>地域住民から、河道内に樹木が繁茂している状況に対し対策を求める声があり、この数年は、薪やキノコの原木利用という住民ニーズをとらえ、住民による樹木伐採（公募）が実施されてきましたが、平成30年度から国の3カ年緊急対策による野洲川の樹木の伐木（工事）が行われることになり、状況が一変していくことがわかってきました。令和2年度までに、河道内の樹木が一旦は皆伐される見通しであることから、今後は、今後は、再び芽を出し、ひょろっと伸びてきた段階（住民がノコギリなどで伐採できる状況）で、住民による河川保全活動が必要になってくると考えられます。</p> <p>他方、守山市では2021年4月から、中洲学区内に整備される環境学習拠点施設を中心に、環境学習事業が始まる予定であることから、地元中洲学区から要望の根強い野洲川の保全活動（ゴミ拾いや樹木伐採）に、住民や企業の参加を促すためのテコとして、そうした守山市の行政施策を活用していくことができると考えています。</p>					
<p>実施目的</p>	<p>（ビジョン）</p> <p>野洲川下流部における住民による河川の利用活動および保全活動が活性化している状況を展望します。国による「水防災意識社会再構築ビジョン」なども踏まえた野洲川の河道内樹木の伐木作業や、大きな社会問題となっているプラゴミ問題（川ゴミ）の削減に向けて、住民参加による保全活動が野洲川でも進んでいくことを目指して活動します。</p> <p>（ミッション）</p> <p>住民による河川の利用においては、守山市などが占有する河川公園などを中心に、河川管理者、公園管理者（守山市）とも調整をはかり、住民活動が活性化するように、行政とのつなぎ役と、住民参加の後押し役として活動します。樹木の伐木作業や、川ゴミ削減に向けた住民活動の支援においては、企業と連携した野洲川クリーン作戦を進めている他の河川レンジャーとも緊密に連携しつつ、2021年4月に開始予定の守山市環境学習事業にも野洲川の保全活動を位置付けるよう提言を行い、野洲川流域の住民や企業が、野洲川の保全活動に参加する持続的な動きが生みだされるように、河川管理者、地元自治体（守山市）、住民とのつなぎ役として活動したいと考えています。</p>					
<p>今年度の成果目標とこれまでの達成度</p>	<p>※活動計画で掲げた成果目標に対してこれまでの達成度をA～F（Aが達成度最大、Fが達成度最低）の6段階で自己評価して下さい。また、そのように評価した理由や根拠があれば書いてください。</p> <table border="1" data-bbox="288 1568 1465 2112"> <tr> <td data-bbox="288 1568 841 1836"> <p>1. 「川遊び」および「草サッカー」を中心に、（守山市の人口構成としてもっとも多いと言われる）30～40歳代の子育て世代の野洲川の利用を進めます。</p> </td> <td data-bbox="841 1568 1465 1836"> <p>A · B · <input checked="" type="checkbox"/> C · D · E · F</p> <p>住民による川遊びの場を支援（実施回数 1 回/参加者 20 名）、草サッカーを 2 回実施（参加者 27 名）。新型コロナウイルス感染症の影響があり計画通りには実施できていない。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="288 1836 841 2112"> <p>2. 「草サッカー」などの利用活動ともあわせて、定期的な川ゴミの清掃活動の場をもうけ、アウトドア感覚で楽しく参加する清掃活動の雰囲気づくり、イメージづくりをはかります。</p> </td> <td data-bbox="841 1836 1465 2112"> <p>A · B · <input checked="" type="checkbox"/> C · D · E · F</p> <p>草サッカーの実施にあわせた清掃活動を 1 回実施した（参加者 11 名）。新型コロナウイルス感染症の影響があり計画通りには実施できていない。</p> </td> </tr> </table>		<p>1. 「川遊び」および「草サッカー」を中心に、（守山市の人口構成としてもっとも多いと言われる）30～40歳代の子育て世代の野洲川の利用を進めます。</p>	<p>A · B · <input checked="" type="checkbox"/> C · D · E · F</p> <p>住民による川遊びの場を支援（実施回数 1 回/参加者 20 名）、草サッカーを 2 回実施（参加者 27 名）。新型コロナウイルス感染症の影響があり計画通りには実施できていない。</p>	<p>2. 「草サッカー」などの利用活動ともあわせて、定期的な川ゴミの清掃活動の場をもうけ、アウトドア感覚で楽しく参加する清掃活動の雰囲気づくり、イメージづくりをはかります。</p>	<p>A · B · <input checked="" type="checkbox"/> C · D · E · F</p> <p>草サッカーの実施にあわせた清掃活動を 1 回実施した（参加者 11 名）。新型コロナウイルス感染症の影響があり計画通りには実施できていない。</p>
<p>1. 「川遊び」および「草サッカー」を中心に、（守山市の人口構成としてもっとも多いと言われる）30～40歳代の子育て世代の野洲川の利用を進めます。</p>	<p>A · B · <input checked="" type="checkbox"/> C · D · E · F</p> <p>住民による川遊びの場を支援（実施回数 1 回/参加者 20 名）、草サッカーを 2 回実施（参加者 27 名）。新型コロナウイルス感染症の影響があり計画通りには実施できていない。</p>					
<p>2. 「草サッカー」などの利用活動ともあわせて、定期的な川ゴミの清掃活動の場をもうけ、アウトドア感覚で楽しく参加する清掃活動の雰囲気づくり、イメージづくりをはかります。</p>	<p>A · B · <input checked="" type="checkbox"/> C · D · E · F</p> <p>草サッカーの実施にあわせた清掃活動を 1 回実施した（参加者 11 名）。新型コロナウイルス感染症の影響があり計画通りには実施できていない。</p>					

	年間活動計画	活動結果
	3. 「野洲川クリーン作戦」とも連携して、住民参加による樹木の伐木作業の機会をもうけ、住民の参加を進めます。	A ・ B ・ <input checked="" type="checkbox"/> C ・ D ・ E ・ F 「野洲川クリーン作戦」の開催に協力して、住民グループの参加を呼びかけ、ご参加いただいた（参加者 20 名）。河川管理者による E ボートの運航の結果、住民グループでも、次年度に向けて、カヤック利用の話題が浮上している。
	4. 2021 年 4 月に開始予定の守山市環境学習事業において、野洲川における住民参加による河川活動を位置付けられることを目指します（市民や企業による野洲川の保全活動への参加の促進を後押し）。	A ・ B ・ <input checked="" type="checkbox"/> C ・ D ・ E ・ F 次年度以降、野洲川を含む守山市内の保全活動に参加した住民に環境ポイントを付与して、活動参加のインセンティブとする施策が検討されている。また、市内の高校にリバースポーツや河川敷利用活動への参加をよびかけている。
	※当初想定していなかった成果があれば記載してください⇒	
	※これまでの活動の中で、自ら評価できる点などを記載して下さい。 守山市長との意見交換や、琵琶湖河川事務所情報交換会、守山市環境学習事業の策定過程における住民との意見交換を踏まえ、リバースポーツの利用促進や、中洲地区の活性化も視野に「かわまちづくり」の進んで行くべきイメージについて、関係者の間で、たいぶ共有化できてきたように感じています。	
活動内容の計画と途中経過	※活動計画で掲げた活動内容対して、これまでに実際に実施できた事柄、計画していたが実施できなかった事柄、さらに、当初予定していなかったが実施できたことなどを、前述の成果目標の番号と対比して記載してください。	
	① 野洲川中洲親水公園での住民活動支援 -1. 野洲川周辺の 30～40 代の子育て世代を主な対象として、野洲川での活動への参加を働きかけます。	コロナの影響があり、十分にできなかった。他方、守山市環境学習事業の策定過程においては、30～40 代の子育て世代を対象とした施策の必要性に焦点を当てることができている。
	② 野洲川中洲親水公園での住民活動支援 -2. 公園利用に際しては、公園管理者の方が掲示する使用ルールに、住民利用を抑制しそうな項目が多いため、河川管理者や、中洲会館、中洲学区（住民組織）などとも意思疎通をとりながら、公園管理者との調整を進めていきます。	水上レンジャーや支援室とも連携し、琵琶湖河川事務所意見交換会や、水辺でカンパイなどの機会をとおして、河川管理者との意思疎通をはかるとともに、守山市役所との問題意識の共有化がはかられ、今後、公園の掲示板に示されている事項の見直しが行われると聞いている。
	③ 野洲川での定期的な川ゴミの清掃活動の場の創出と情報発信 -1. 野洲川では、低水路の水際に上流から流れてくる散在性ゴミが漂着していることが多いため、野洲川中洲親水公園を中心に、ゴミ拾いの活動を行います。	コロナの影響があり、十分にはできなかったが、6 月に 1 回、また、11 月の野洲川クリーン作戦の機会をとらえて、住民グループの清掃活動として、低水路の水際のゴミ拾いを行うことができた。今後は、継続的に実施できるようにしていきたい。
	④ 樹木伐採などの課題に対する住民と行政が連携した活動支援 -1. 「野洲川クリーン作戦」を主に担う他の河川レンジャーの動きに連携して活動します。	当初、想定していた河道内樹木の再繁茂対策は、河川管理者の方でも「水辺でカンパイ」や「野洲川クリーン作戦」の機会をとらえて、幼木の踏み倒しや、中洲へのボートでの渡岸などを、率先して実施してくださっている。今後は、住民の参加の機会を広げていきたい。

	年間活動計画	活動結果
	<p>⑤ 守山市環境学習事業推進委員会を中心に、住民委員や関係企業、地域関係者、守山市役所等との意見交換や、提言</p> <p>-1. 守山市環境学習事業推進委員会（2020年2月に設立）の委員長に指名されたことを契機に野洲川における住民参加の保全活動を促進するために、守山市に対して提言を行っていきます。</p>	<p>守山市環境学習事業の策定過程において、中洲地区の住民や、守山市内の環境保全団体のメンバー、その他、市内の事業者など多様な主体との意見交換を繰り返しもつことができ、野洲川を含め、市内の各河川の保全活動への30～40代の子育て世代の参加を促進することの必要性を確認でき、次年度以降、参加者に、環境ポイントを付与するという施策案で合意できた。</p>
	<p>⑥ 新型コロナウイルス感染症対策</p> <p>-1. 滋賀県や守山市、国が公表する関係情報を参照し、状況に応じて、適切に行動します。</p>	<p>4～5月の外出自粛時期を通して、野洲川の利用状況を調査し、報告することができた。</p>
	<p>※当初予定していなかったが実施できたことがあれば記載してください⇒</p>	<p>守山市長や、その他、市内の多様な住民との意見交換を通して、市内の高校生年代の参加をよびかけるイメージを共有することができ、市内の高校へのアプローチをはじめている。</p>
活動対象に対する関係づくりの途中経過	<p>※活動計画の中で、「活動の対象」として挙げた相手について、これまでにどのような関係づくりできたのかを記載してください。また、当初想定していなかった相手との関係づくりが出来た場合には、そのことも記載してください。</p>	
	<p>① 住民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・守山市内在住の30～40代子育て世代</li> <li>・地元中洲学区内の自治会や、野洲川を利用する住民グループなど</li> </ul>	<p>コロナの影響があり、十分には出来ていない。他方で、中洲会館の指導員との情報交換から、増水で中止になったカヤック教室の参加者に野洲川クリーン作戦への参加を声かけし、参加表明をいただくことができた。</p>
	<p>② 企業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・守山市環境学習事業推進委員会に参加されている企業など</li> </ul>	<p>守山市環境学習事業の策定過程において、情報交換、意見交換を行っている。</p>
	<p>② 守山市役所、中洲会館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国県事業対策課、道路河川課、環境政策課、市民協働課ほか</li> </ul>	<p>琵琶湖河川事務所意見交換会を通して、国県事業対策課との意思疎通をはかるとともに、守山市環境学習事業の策定過程において、環境政策課との信頼関係を構築し、守山市長を経由して、秘書広報室との連携もはかっている。</p>
今年度における今後の課題	<p>※ これからの活動の中で取り組んでいきたい事柄、活動の中で悩んでいる点などについて記載してください。</p> <p>コロナの影響があり、川遊びや草サッカー、ゴミ拾いなどの個別の活動は、なかなか思うように進められていませんが、他方で、住民や、事業者、市役所、河川管理者との情報共有や意見交換は、想定していた以上に進んだという感触があります。</p> <p>特に、野洲川中洲親水公園あめんぼうが整備された「かわまちづくり事業」（守山市と河川管理者）に関連して、「野洲川クリーン作戦」で試行いただいたEボートの運航などを足掛かりに、カヤックなどのリバースポーツや、これまで進めてきた「草サッカー」なども手がかりに芝生の広場を活用した親子スポーツ利用などを組み合わせ、近い将来の利用のされ方のイメージが共有されつつあり、今後は、そこに市内の高校生などの若い担い手の参加も呼びかけながら、具体的な動きをつくっていくための河川レンジャー活動（つなぐ活動）を進めていきたいと考えています。</p>	

◆承認時の年間活動計画における工程計画

工程計画		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 親水公園利用活動	利用調査		ウェブ開設	草サッカー	川遊び	川遊び	川遊び	草サッカー	草サッカー	草サッカー	草サッカー	草サッカー	草サッカー
(2) 定期清掃活動				清掃活動				清掃活動	清掃活動	清掃活動	清掃活動	清掃活動	清掃活動
(3) 樹木の伐木作業				現地調査	地元調整			伐木					
(4) 提言活動	市役所打合せ	市役所打合せ	委員会	個別対話	個別対話	委員会	提言						

◆承認後の年間活動計画における工程計画（承認時）に対して、これまでの活動実績及び今後の活動予定  
 ※年間活動計画における工程計画（上段）に対して、これまでの活動実績及び今後の活動予定を記載してください。

工程計画		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 親水公園利用活動	利用調査		川遊び	草サッカー					草サッカー	草サッカー	草サッカー	草サッカー	草サッカー
(2) 定期清掃活動				清掃活動					清掃活動	清掃活動	清掃活動	清掃活動	清掃活動
(3) 樹木の伐木作業							踏み倒し参加	下見	クリーン作戦				
(4) 提言活動	市役所打合せ	市役所打合せ	委員会	個別対話	個別対話	個別対話	市長面談&委員会	市役所打合せ	高校へのアプローチ				

※青文字および空白箇所は、変更部分

#### 活動工程に関するふり返り

※当初の工程計画及びこれまでの活動結果をふり返り、出来なかったことに関して、今後どのように活動していくかなどについて記載して下さい。

新型コロナウイルス感染症の影響があり、当初、計画していた川遊びや草サッカー、ゴミ拾いなどの個別の活動は、なかなか思うように進められていません。

今後は、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、着実に進めていきたいと考えています。

テーマ： 住民と行政がともに考える川づくり

■中間活動報告書

氏名： 水上 幸夫

作成日： 2020年11月29日

	年間活動計画	活動結果
背景と昨年度の課題	私は、川は住民の宝であり、できるだけ多くの人々に「川に関心を持ってもらい」「川に直接ふれてもらい」「川のことを自ら考えてもらう」等の行動をしてもらえるような「住民参加の川づくり」の取り組みを進めるべきだと思っている。そのためには、行政（河川管理者）と住民がともに考える川づくりを進めることが重要であると考えている。	
実施目的	<p>(ビジョン)</p> <p>① 野洲川が多くの人の活動場所となる。</p> <p>② 住民が川づくりに参加できるような仕組みができる。</p> <p>③ 住民と行政がともに考える川づくりの仕組みができる。</p> <p>④ 最終的には住民と行政が連携した住民参加の川づくりが実現する。</p> <p>(ミッション)</p> <p>サブテーマとして3つのテーマで活動</p> <p>① 地域住民参加の川づくり</p> <p>② 企業参加の川づくり</p> <p>③ 地元中学校参加の川づくり</p>	
今年度の成果目標とこれまでの達成度	<p>※活動計画で掲げた成果目標に対してこれまでの達成度をA~F（Aが達成度最大、Fが達成度最低）の6段階で自己評価して下さい。また、そのように評価した理由や根拠があれば書いてください。</p>	
	<p>1. 企業、地域住民が川づくりに参加できるような仕組みづくり</p> <p>野洲川河川清掃活動の継続</p> <p>河川清掃については継続的に実施するとともにできれば今、野洲川において地域住民と河川管理者の課題の一つとなっている「樹木伐採後の維持管理」についても試験的に取り組む。</p>	<p>A ・ B ・ (C) ・ D ・ E ・ F</p> <p>※理由・根拠を記載してください。</p> <p>企業、地元住民、行政に何度もヒアリングを行い行政と住民の皆さんのそれぞれの想いを聴き「行政と住民がともに活動する野洲川河川清掃」に向けた活動を進めた</p> <p>また、住民と河川管理者の課題の一つとなっている「樹木伐採後の維持管理」についても試験的に取り組んだ。</p>
	<p>2. 地元中学校参加の川づくり</p> <p>野洲川河口部ヨシ帯モニタリング調査の継続</p> <p>高校生まで活動の輪を広げるとともに今年度新たに始めた左岸のヨシ帯のモニタリング調査を中心に皆さんの想いを聴き継続して進めていく。</p>	<p>A ・ B ・ (C) ・ D ・ E ・ F</p> <p>※理由・根拠を記載してください。</p> <p>①YRP を開催し立命館守山中学校と行政の想いを聴き継続調査を実施するとともに新たに左岸の調査を始めるように調整した。</p> <p>②調査方法についてはドローンで撮影した航空写真による植生図を作成しヨシ帯の植物の繁茂状況と面積算出する方法を確立した。</p>

	年間活動計画	活動結果
	<p>※当初想定していなかった成果があれば記載してください⇒</p>	
	<p>※これまでの活動の中で、自ら評価できる点などを記載して下さい。</p> <p>(1)野洲川河川清掃</p> <p>①コロナ感染拡大防止の状況を踏まえた「新しい生活様式を考慮した」活動を実施し例年の規模以上の活動ができた。</p> <p>②新たな企業（綾羽株）との調整を行い参加してもらった。継続的に参加してもらえるように単に社内研修の場所の提供だけではなく綾羽株の社内研修担当者と一緒に「野洲川河川清掃に参加してもらい社内研修に提供できる事」を考え調整を行った</p> <p>(2)野洲川河口部ヨシ帯モニタリング調査</p> <p>①YRP を開催し立命館守山中学校と行政の想い聴き継続調査を実施するとともに新たに左岸の調査を始めるように調整できた。</p> <p>②調査方法についてはドローンで撮影した航空写真による植生図を作成しヨシ帯の植物の繁茂状況と面積を算出する方法を確立した。</p>	
<p>活動内容の計画と途中経過</p>	<p>※活動計画で掲げた活動内容対して、これまでに実際に実施できた事柄、計画していたが実施できなかった事柄、さらに、当初予定していなかったが実施できたことなどを、前述の成果目標の番号と対比して記載してください。</p> <p>① 企業、地域住民が川づくりに参加できるような仕組みづくり</p> <p>-1 野洲川河川清掃の事前調整</p> <p>(1)参加人数、実施項目、清掃範囲、実施日時等について調整(ヒアリング)</p> <p>①琵琶湖河川事務所と調整</p> <p>②(株)レイマックと調整</p> <p>③守山市・地元自治会と調整</p> <p>(2)コロナウイルス感染拡大防止の状況及び関係者へのヒアリング結果を踏まえ新しい生活様式を考慮した詳細な実施計画を作成する。</p> <p>(1)企業、地元住民、行政に何度もヒアリングを行い行政と住民の皆さんのそれぞれの想いを聴き行政と住民がともに活動する「令和2年野洲川河川清掃」を10月10日に実施するように調整した。</p> <p>また、新たに綾羽株に社内研修として参加してもらうように何度も訪問して調整を行った。</p> <p>(2)10月10日に実施するように調整を終えたが台風の影響で中止(順延)となった。実施日時の調整、内容について再調整を行なった。</p> <p>(3)今年はコロナウイルス感染拡大防止の状況及び関係者へのヒアリング結果を踏まえ新しい生活様式を考慮した詳細な実施計画を作成し関係者と調整を行い昨年と同じ規模で実施した。</p>	

	年間活動計画	活動結果
	<p>-2 行政と企業、地域住民を繋ぐ野洲川清掃活動実施計画</p> <p>1) 実施時期：令和2年秋季</p> <p>2) 参加者：約50*予定</p> <p>3) 実施項目： 第1部 河川清掃 第2部 川の防災イベント</p> <p>※例年は100名規模で実施しているが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため人数を制限して実施する予定</p>	<p>(4)実施内容</p> <p>1)実施時期:11月23日(祝日)</p> <p>2)参加者:約100名 地元企業(株)レイマック、綾羽(株)(新規) なかす野洲川たんけん隊 地元自治会 行政(琵琶湖河川事務所、守山市)</p> <p>3)実施項目： 第1部 河川清掃 第2部 (1)Eボートによる中洲探検(野洲川に親しむ) (2)防災イベント</p> <p>①防災かまどづくり(点火まで) ・災害時における避難所の体験</p> <p>②ブース展示 ・野洲川の水害から地域を守る 再繁茂対策試行 再繁茂対策について説明 (琵琶湖河川事務所) 伐木の利用事例の展示 ・川の安全・・・川から自分を守る 川の安全グッズの紹介(展示・実演) ・野洲川を知る 野洲川の水の中の生き物の展示等</p>
	<p>② 地元中学校参加の川づくり 野洲川河口部ヨシ帯モニタリング調査</p> <p>・モニタリング調査の事前調整 ～立命館守山中学校と琵琶湖河川事務所の各々の想いを聴く YRP(意見交換会)を開催～</p> <p>1. 春季調査 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>2. 秋季調査 (1) YRP(意見交換会)開催(10月) ・モニタリング調査 秋季調査(10月)の現地調査については全体の進行をコーディネート</p> <p>・モニタリング調査とりまとめについての YRP 開催 秋季モニタリング調査結果のとりまとめについて意見交換会開催</p>	<p>野洲川河口部ヨシ帯モニタリング調査</p> <p>1. YRPを開催し立命館守山中学校と行政の思い聴き継続調査を実施するとともに新たに左岸の調査を始めるように調整した。</p> <p>2. 調査方法についてはドローンで撮影した航空写真による植生図を作成しヨシ帯の植物の繁茂状況と面積を算出する方法を確立した。</p> <p>実施内容</p> <p>1. 春季調査 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>2. 秋季調査 (1) YRP(意見交換会)開催(10月)</p> <p>①ドローンで撮影した航空写真により植生図を作成。</p> <p>(2)モニタリング調査</p> <p>①YRPで作成した植生図を現地に持参して植物の種類について現地検証を行った。</p> <p>②秋季調査(10月)の現地調査については全体の進行をコーディネート</p>



	年間活動計画	活動結果
	※当初予定していなかったが実施できたことがあれば記載してください⇒	野洲川河川清掃における新たな参加企業の活動 野洲川河川清掃において、新たに地元企業の綾羽(株)に何度も訪問して調整を行い河川清掃に参加してもらえらる事ができた。
活動対象に対する関係づくりの途中経過	※活動計画の中で、「活動の対象」として挙げた相手について、これまでにどのような関係づくりできたのかを記載してください。また、当初想定していなかった相手との関係づくりが出来た場合には、そのことも記載してください。	
	① 企業	(株)レイマック 社員の皆さんと信頼関係づくりができ コロナ禍にもかかわらず野洲川河川清掃に積極的に参加して頂いた 綾羽(株) 当初想定していなかった綾羽(株)に社内研修として野洲川河川清掃に参加してもらえた。
	② 地域住民	10月10日に実施予定の野洲川河川清掃は台風の影響で中止になったが野洲川清掃活動に参加して頂けるように再調整し11月23日に実施する事ができた。
	③ 立命館守山中学校	①モニタリング調査の方法の確定 ドローンで撮影した航空写真による植生図を作成しヨシ帯の植物の繁茂状況と面積算出する方法を確立した。 ②新たに左岸の調査を始めるように調整できた。
	④ 管理者（琵琶湖河川事務所、守山市）	野洲川河川清掃が継続できる関係づくりができた。
今年度における今後の課題	※ これからの活動の中で取組んでいきたい事柄、活動の中で悩んでいる点などについて記載してください。 野洲川河川清掃 「行政と住民と共に活動する」河川清掃活動から「住民主体による河川清掃活動」に発展させるための活動を進めるために関係者と事前調整に取り組んでいく予定。	

◆承認時の年間活動計画における工程計画

工程計画	年間活動計画												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
野洲川清掃活動			ヒアリング	ヒアリング	ヒアリング	関係者と最終調整	清掃活動実施	とりまとめ	考察	次年度活動計画(案)作成	次年度活動計画のヒアリング		
野洲川河口部ヨシ帯再生モニタリング調査	ヒアリング			ヒアリング	YRP開催	YRP開催	秋季調査実施		YRP開催	YRP開催	成果発表		

◆承認後の年間活動計画における工程計画（承認時）に対して、これまでの活動実績及び今後の活動予定

※年間活動計画における工程計画（上段）に対して、これまでの活動実績及び今後の活動予定を記載してください。

工程計画	年間活動計画												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
野洲川清掃活動			ヒアリング	ヒアリング	ヒアリング	関係者と最終調整	清掃活動（台風の影響で中止）	実施計画の見直し・関係者と再調整 清掃活動実施	とりまとめ・考察	次年度活動計画(案)作成	次年度活動計画のヒアリング		
野洲川河口部ヨシ帯再生モニタリング調査	ヒアリング			ヒアリング	YRP開催	YRP開催	秋季調査実施		YRP開催	YRP開催	成果発表		

※青文字および空白箇所は、変更部分

活動工程に関する振り返り

※当初の工程計画及びこれまでの活動結果を振り返り、出来なかったことに関して、今後どのように活動していくかなどについて記載して下さい。

## 2020 年度の年間スケジュール

2020 年度の琵琶湖河川レンジャーの年間スケジュールは以下の通りです。

時期	制度運営委員会等	河川レンジャーミーティングおよび 勉強会(仮称)	その他 (Rレポート発行、流域連携支援室関係 他)
4月			
5月		5/15 第1回 河川レンジャーミーティング	
6月			
7月	6/26~7/17 第60回 制度運営委員会		【延期】流域連携イベント 7/20-21「第13回 水辺の匠」
8月			
9月	9/8 第1回 琵琶湖河川R・琵琶湖河川事務所 意見交換会		琵琶湖河川レンジャーレポート vol.41 発行
10月			
11月			流域連携イベント 11/15「第13回 水辺の匠」
12月	12/8 第61回 制度運営委員会  12/8 制度運営委員会委員・琵琶湖河川R 意見交換会	12/16 第1回 河川レンジャー勉強会 「行政の川づくりを学ぶ」	【中止】流域連携イベント 12/6「第9回 水辺の匠クリスマス」  琵琶湖河川レンジャーレポート vol.42 発行
1月	第2回 琵琶湖河川R・琵琶湖河川事務所 意見交換会	第2回 河川レンジャー勉強会 「水防災(マイタイムライン)」	
2月	第62回 制度運営委員会		琵琶湖河川レンジャーレポート vol.43 発行
3月			

令和2年度

# 琵琶湖河川レンジャー レポート

30～40代の子育て世代が、  
にぎやかに野洲川で遊び、楽しんでいる。  
その延長線上で、アウトドア感覚で、  
川ゴミひろいや、樹木伐採などの  
保全活動が和気あいあいと行われている。  
そんな、野洲川を目指します!!



根木山レンジャー

“活動テーマ”  
野洲川の川守りをつなぐ

令和2年度  
根木山レンジャー活動計画  
(概要)

河川レンジャー  
活動支援室  
2020年9月発行  
Vol.41



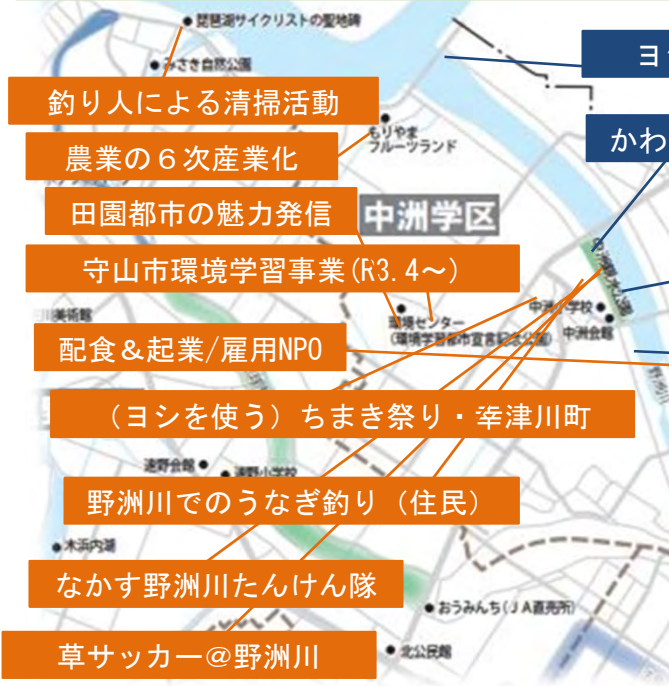
芝生の広場で草サッカー

## 野洲川中洲親水公園で川遊び



(1) 守山市の年代別人口で、30～40代がもっとも多いんです。ちょうど子育て時期の家族を対象に、野洲川を利用した活動の場をつくり、野洲川利用を進めます。

## (4) 環境学習事業への提言や地域活性化と連携します



ヨシ帯再生

かわまちづくり

維持管理 (川ゴミ)

維持管理 (河道内樹木)

(2) 上流から流れつく川ゴミをひろう住民参加の清掃活動を定期開催します。



(3) 3カ年緊急対策の伐木工事のあとに生えてくる細い木なら、親子連れで、アウトドア感覚で楽しく切れます。

### 活動拠点 (問い合わせ先)

水のめぐみ館 ウォーターステーション琵琶内 河川レンジャー活動支援室  
〒520-2279 滋賀県大津市黒津4-2-2 TEL077-536-3520 FAX077-536-3530  
E-mail: r-manager@water-station.jp URL: http://www.water-station.jp/ranger  
FB: http://www.facebook.com/BiwakoRanger

### フェイスブックで活動を広報しています!

琵琶湖河川レンジャーFacebookページ  
<https://www.facebook.com/BiwakoRanger/>

(図) 守山市まるごと活性化プランより

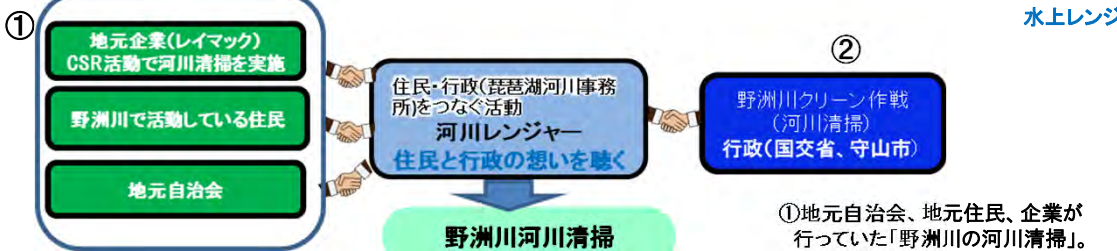
**みんなから愛される野洲川をめざして  
住民と行政がともに活動する「野洲川河川清掃」、「ヨシ帯  
モニタリング調査」を進めています。**



水上レンジャー

令和2年度  
水上レンジャー活動計画  
(概要)

■野洲川河川清掃（行政と企業、地域住民をつなぐ）



- ①地元自治会、地元住民、企業が行っていた「野洲川の河川清掃」。
- ②行政が実施していた「野洲川クリーン作戦」。
- ③河川レンジャーが繋ぎ「野洲川河川清掃」を行うようになりました。



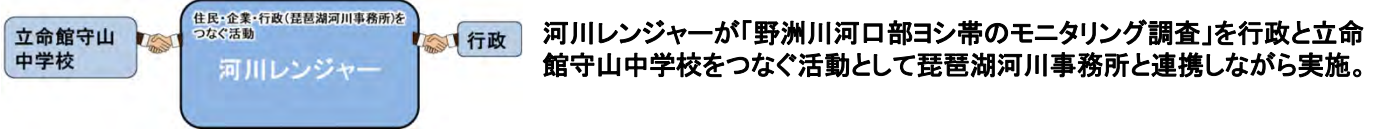
③ 令和2年度野洲川河川清掃（概要）

- 1) 実施時期  
令和2年10月下旬～11月初旬（予定）
- 2) 参加者・・・約50名（予定）
  - ①企業 株式会社 レイマック  
なかず野洲川たんけん隊、地域住民
  - ②琵琶湖河川事務所、守山市
- 3) 実施項目
  - ①河川清掃・防災イベント  
野洲川親水公園の上下流

■ヨシ帯モニタリング調査（行政と地元中学をつなぐ）

野洲川河口部ヨシ帯再生事業（概要）

- 新しく作った大きな野洲川ができ、昔から苦しめられた水害がなくなりました。
- 野洲川の河口部に川をつくるために、鉄の板を打って川の水があふれないようにしました。そのためゴロブナなどの産卵や魚の子供達の住み処がなくなっていました。



令和2年度野洲川河口部ヨシ帯モニタリング調査（概要）

- ドローンで撮影した航空写真により植生図を作成。
- 作成した植生図よりヨシ帯の植物の種類と面積を算出。
- 過去のデータと経年比較して評価
- 成果発表

昨年、中学生たちが各種植物を判読しマーキングした植生図



## 河川レンジャー制度運営委員会規約

平成21年3月に策定された淀川水系河川整備計画では、河川レンジャーは「行政と住民との間に介在して、住民が河川に関心を持つような活動に取り組むとともに、個別事業の検討段階における住民意見の聴取や、住民の河川にかかわるニーズの収集を行う」としている。

琵琶湖河川レンジャーは、さらに住民と住民ならびに住民と行政との連携・協働を国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所の直轄管理する区域およびその周辺で行うものとする。河川レンジャー制度運営委員会（旧河川レンジャーアドバイザー委員会）は、琵琶湖河川レンジャーと連携し、琵琶湖河川事務所の積極的な支援に基づいてその制度を運営する。

（名称）

第1条 本委員会は「河川レンジャー制度運営委員会」（以下「委員会」という。）と称する。

（目的）

第2条 本委員会は、河川レンジャー制度の発展に寄与することを目的とし、その制度の運用の検討、琵琶湖河川レンジャー（以下「河川レンジャー」という。）の任用、河川レンジャーの活動等にかかる審査等を行う。

（委員の責務）

第3条 河川レンジャー制度運営委員会委員（以下「委員」という。）は、前条の目的に基づき河川レンジャー制度が適切に運用されるよう努めるものとする。

（審議事項）

第4条 委員会は、以下に掲げる項目に関して議決する。

- （1）河川レンジャーの任命及び解任
  - （2）河川レンジャー活動要領に関する事項
  - （3）その他委員会が必要と認めた事項
2. 委員会は、以下に掲げる項目に関して検討する。
- （1）河川レンジャー制度の運用に関する事項
  - （2）河川レンジャーの育成及び活動
  - （3）その他委員会が必要と認めた事項

(組織等)

第5条 委員会は10名以内の委員で構成する。

2. 委員会の構成委員については、国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所長が次の各号に掲げる者から委嘱する。

- |                  |      |
|------------------|------|
| (1) 学識経験者        | 3名程度 |
| (2) 住民           | 5名程度 |
| (3) 行政関係者(河川管理者) | 2名程度 |

(任期)

第6条 委員の任期は1年とする。但し、再任を妨げない。

2. 委員は正当な理由を有する時は、委員会の同意を得て辞任することができる。

(委員長及び副委員長)

第7条 委員会には委員長1名、副委員長1名を置くこととする。

2. 委員長及び副委員長は委員の互選によってこれを定める。
3. 委員長は会務を総括し、委員会を代表する。
4. 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故がある時又は委員長が欠けた時は、副委員長がその職務を代行する。

(委員会)

第8条 委員会は委員長が招集し、これを運営する。

2. 委員会は、委員総数の過半数の出席をもって成立する。
3. 委員会の議長は、委員長がつとめる。
4. 委員会は、必要に応じて委員以外の者から意見を聴くことができる。

(議事)

第9条 委員会の表決は出席委員の過半数をもって行う。なお、可否同数の場合は議長がこれを決定する。

2. 前項の場合においては、議長は委員として表決に加わることができない。

(委員会の公開)

第10条 委員会は公開を原則とし、その公開方法については委員会で定めるものとする。

(事務局)

第11条 委員会の事務局は水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶(滋賀県大津市黒津4-2-2)内に置く。



(規約の改正)

第12条 本規約の改正は、委員総数の過半数をもってこれを行うものとする。

(雑則)

第13条 本規約に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会に諮ってこれを定める。

附則

(施行期日)

この規約は、平成18年4月6日から施行する。

改正 平成20年1月18日

平成21年6月22日

平成22年1月20日

平成28年3月7日

## 琵琶湖河川レンジャー活動要領

### （趣旨）

第1条 この活動要領は、国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所が管轄する区域及びその周辺において活動する琵琶湖河川レンジャー（以下「河川レンジャー」という）の役割と活動要領について定めるものである。

### （定義）

第2条 平成21年3月に策定された淀川水系河川整備計画では、河川レンジャーは「行政と住民との間に介在して、住民が河川に関心を持つような活動に取り組むとともに、個別事業の検討段階における住民意見の聴取や、住民の河川にかかわるニーズの収集を行う」としている。

琵琶湖河川レンジャーは、さらに住民と住民ならびに住民と行政との連携・協働を琵琶湖河川事務所の直轄管理する区域及びその周辺で行うものとする。

### （責務）

第3条 河川レンジャーは、第2条に規定した活動を自発的に行う有識者であり、河川レンジャーの制度が適正に運用されるようにつとめるものとする。なお、河川レンジャーの活動は、個人や特定の団体の活動と区別されなければならない。

### （活動拠点）

第4条 河川レンジャーの活動拠点は、水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶（滋賀県大津市黒津4-2-2）とする。

### （任命及び解任）

第5条 河川レンジャーは、河川レンジャー制度運営委員会（以下「運営委員会」という。）の審査を経て、同委員会から任命されるものとする。

- 2 河川レンジャーがやむを得ない理由により、辞任を申し出た時は、運営委員会はこれを審議して解任することができる。
- 3 第10条に定める年度報告の審査の結果、活動内容の妥当性が認められなかった場合には、運営委員会は河川レンジャーを解任することができる。
- 4 次の各号に掲げる内容のいずれかに該当する時は、運営委員会はこれを審議して河川レンジャーを解任するものとする。
  - (1) 河川レンジャー制度の信頼を著しく失墜する行為をおこなったとき。
  - (2) 活動の意志がないと認められるとき。
  - (3) 公序良俗に反する行為があったとき。
  - (4) 心身故障のため、活動の執行に堪えないとき。
  - (5) 活動中において宗教活動、政治活動、営利活動を行ったとき。
  - (6) 法令に違反する行為があったとき。
  - (7) その他本活動要領に違反したとき。

(活動休止及び再開)

第6条 河川レンジャーがやむを得ない理由により、長期間にわたり活動を休止する場合、または活動を再開する場合は、運営委員会の承認を得るものとする。

(任期)

第7条 河川レンジャーの任期は、任命された日から当該翌年度の3月31日までとする。ただし、再任は妨げない。

(活動支援)

第8条 河川レンジャーの活動を支援するために、河川レンジャー活動支援室（以下「支援室」という。）をウォーターステーション琵琶内におく。

2 レンジャーの活動を適正かつ円滑にするために、支援室に河川レンジャーマネージャー（以下「マネージャー」という。）をおく。

3 運営委員会は、支援室職員の中からマネージャーを任命し、第5項の任務が適正に行われているかを審査する。

4 マネージャーの任期は、1年間とする。ただし、再任は妨げない。

5 マネージャーの任務は、運営委員会が下記に定める。

(1) 河川レンジャーミーティング（以下「ミーティング」という。）等の河川レンジャーが主体となる各種会議、活動行事等の日程調整

(2) ミーティングの司会・進行、議事録作成

(3) 河川レンジャーが運営委員会に提出する活動計画書や活動報告の作成、その他活動の実施にあたっての助言等

(4) 河川レンジャー活動成果のとりまとめとその広報

(5) 河川での様々な住民及び行政の活動に関する各種情報を河川レンジャーへ提供

(6) 運営委員会に対する河川レンジャーからの河川レンジャー活動に関する要望、および河川レンジャー制度に関する意見具申の内容整理と手続きを行う。

(7) 河川レンジャーの活動に対するマスメディア等からの取材受付

(8) その他レンジャー活動の支援に関する事項

第9条 河川レンジャーの活動を継続的に実施するため、河川レンジャーの中に河川レンジャーチーフを置くことができる。

2 河川レンジャーチーフは、河川レンジャーとしての経験等を考慮して運営委員会が任命する。

3 河川レンジャーチーフの任期は、任命された日から河川レンジャーの任期終了までとする。ただし、再任は妨げない。

4 河川レンジャーチーフに任務は、運営委員会が下記に定める。

(1) 琵琶湖河川レンジャーのまとめ役として各主体との連絡・調整

(2) 河川レンジャーの方向性の調整

(3) 退任する河川レンジャーの情報の引継ぎ

(4) その他河川レンジャーの活動に継続性を持たせるための活動

- 5 河川レンジャーチーフに任命された河川レンジャーの活動計画及び活動報告には前項の内容を含むものとする。

(活動計画)

第10条 河川レンジャーは、任命後速やかに任期内の活動計画を作成し、運営委員会の承認を得て活動を行うものとする。なお、活動計画を大きく変更するときは、速やかに計画変更書を運営委員会に提出し、同委員会の承認を得なければならない。

(活動報告)

第11条 河川レンジャーは、活動の内容、経過及び結果を運営委員会に報告し、承認を得るものとする。

- 2 河川レンジャーは、第1項の活動報告を原則として毎月提出するものとする。
- 3 河川レンジャーは、任期中の各年度末に、当該年度活動内容の報告を運営委員会に対して行い、活動内容の審査を受けるものとする。

(研修)

第12条 河川レンジャーは、運営委員会に対して、活動資質を高めるための研修講座の開講を要請することができるものとする。

(謝金等)

第13条 河川レンジャーへの謝金は月払いとし、適正な活動内容に対して支給するものとする。

- 2 河川レンジャーの活動及びその報告に要する経費は謝金の中に含まれるものとする。  
なお、活動報告に要する交通費は別途支給するものとする。
- 3 河川レンジャーの謝金額は別途定める。

(保険の加入)

第14条 運営委員会は、河川レンジャーが、活動計画に基づく活動を行うに当たっては、事前に、傷害保険等に加入する。

- 2 前項の保険への加入及び保険履行等の手続きは、レンジャー活動支援室がこれを行う。

(活動要領の改正)

第15条 本活動要領の改正は、運営委員会規約第4条第2項に基づいてこれを行うものとする。

附則

この活動要領は、平成22年4月1日から施行する。

改正 平成27年3月10日



## 琵琶湖河川レンジャー活動の視点の位置づけについて

# 河川レンジャー活動の理念・あるべき姿の位置づけ

令和2年2月14日  
第59回 琵琶湖河川レンジャー制度運営委員会  
【検討資料】

「河川レンジャー」については、淀川水系河川整備計画で提起され、琵琶湖河川事務所管内では、平成18年度に「河川レンジャー制度」が制度化された。それ以降、当制度に基づく河川レンジャー活動が展開されてきたが、平成24年度に、今後の河川レンジャー制度及び委員会組織のあり方について、ワーキングによるレビューに基づき答申が行われた。ここに示す、「河川レンジャー活動の理念・あるべき姿」は、当答申に基づいて明文化するものである。

## ■淀川水系河川整備計画(平成21年3月策定)

河川レンジャーは、行政と住民との間に介在して、住民が河川に関心を持つような活動に取り組むとともに、個別事業の検討段階における住民意見の聴取や、住民の河川にかかわるニーズの収集を行う。当面は、河川にかかる環境学習等の文化活動や動植物の保護活動、河川利用者への安全指導等の活動を試行する。また河川レンジャー自らが住民と行政をつなぐテーマについて、試行も含めて活動の充実を図る。将来的には、地域住民と河川管理者とが連携しながら河川整備を進めていく上で、住民と河川管理者との橋渡し役となることも期待される。

## ■河川レンジャー制度(現状)

### ○河川レンジャー制度運営委員会規約

#### ・前文(抜粋)

琵琶湖河川レンジャーは、さらに住民と住民ならびに住民と行政との連携・協働を国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所の直轄管理する区域およびその周辺で行うものとする。

- ・名称、目的、委員の責務、審議事項、組織等、任期、委員長・副委員長、委員会、議事、委員会の公開、事務局、規約の改正、雑則

### ○琵琶湖河川レンジャー活動要領

- ・趣旨、定義、責務、活動拠点、任命及び解任、活動休止及び再開、任期、活動支援、活動計画、活動報告、研修、謝金等、保険の加入、活動要領の改正

## ■河川レンジャー制度運営委員会 委員会レビューワーキング

「今後の河川レンジャー制度及び委員会組織のあり方について(答申・抜粋)」

### (1)河川レンジャーのありべき姿

イ)河川レンジャー活動のありべき原点は、住民の河川との生活の関わりの中から醸成されてきた住民の真の知恵を聴取し、この住民意見を新たな川づくりの河川整備に反映されるように努め大きな志を抱くことにあるということを目指す。

ロ)「つなぐ」という言葉には、二つの本質的な意味がある。一つは、河川に関わる住民の真の意見を聴取するための、住民と河川レンジャーとの間の「つなぐ」である。河川レンジャーは、この「つなぐ」を達成するために、住民の意見を極めて公平に掘り下げて聴取できるよう、なんびとの利益行動にも左右されずに日常から思想と信条に関する倫理獲得に努め、住民個人あるいは住民組織と接していかなければならない。二つめは、河川レンジャーと河川管理者との間の「つなぐ」である。すなわち、河川レンジャーからの住民と河川レンジャーとの間の「つなぐ」結果の河川管理者への報告過程である。河川管理者は、河川整備を行うにあたって、住民と河川レンジャーとの間の「つなぐ」と河川レンジャーと河川管理者との間の「つなぐ」の二つの「つなぐ」を施策に十分に生かし反映させなければならない。

ハ) 河川レンジャー活動の理念、あるべき姿を明文化し、委員会委員ならびに河川レンジャーが活動目的の本質を認識して、これの共有を図る。

### (2)河川レンジャーの育成

- イ)開催講座の継続的開催
- ロ)相互理解を図るための交流の場

### (3)河川レンジャー活動成果の評価

- イ) 委員会が河川レンジャー制度の理念、目標を明確に提示できるという前提で、河川レンジャーの個別の活動について、その理念、目標の達成度を評価する。
- ロ)河川レンジャー活動総体としての全体評価

### (4)委員会の果たすべき役割

- イ)委員会委員の関与
- ロ)委員会及び委員の役割
- ハ)河川レンジャーと委員とのコミュニケーション

## ■河川レンジャー制度(今後)

### ○河川レンジャー制度運営委員会規約(前文(抜粋))

琵琶湖河川レンジャーは、さらに住民と住民ならびに住民と行政との連携・協働を国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所の直轄管理する区域およびその周辺で行うものとする。

### ○河川レンジャー活動の理念・あるべき姿

河川レンジャー活動の「理念」及び河川レンジャー活動に当たっての「姿勢」住民の真の知恵を聴取し、新たな川づくりに反映させるための活動プロセスとその「心得」活動テーマ設定の「視点事例」

※河川レンジャーの理念・あるべき姿の文章作成に基づいて、河川レンジャー制度運営委員会規約の改正が必要との判断はしない

※河川レンジャー活動の評価制度に関しては、河川レンジャー制度の理念・目標の明示がなされることによって、河川レンジャー個別活動評価について委員会にて検討する

※住民から寄せられたニーズに変化があった場合、河川管理者は、住民と行政との連携・協働がより積極的に取り組まれるよう制度運営委員会に報告し、制度運営委員会は、河川レンジャーの個別活動の評価、継続審査、任命審査に利活用するものとする。

# 河川レンジャー活動の理念・あるべき姿

## ■河川レンジャー活動の「理念」

河川は、昔から住民の生活や生業と深い関係にあり、人々は日常的に川に触れ、遊び、恵みを得てきました。またその一方で、河川の氾濫等により、大きな被害を繰り返し受けてきた歴史もあります。

高度経済成長の大変動の中で、人々は、より便利で、安全で、効率の高い方法で、生活の向上、産業の発展を求めようになり、いつしか人々は、河川に背を向け、その整備や維持管理は専ら行政によるものとして認識されるようになりました。

しかし、河川整備計画に示されているように、本来、河川は貴重な自然環境や地域固有の風土・文化などを育む地域の財産であり、ともに守り育てていくことが求められます。

そのために今必要なこと、それは、住民自身が河川を守り育てていく「主人公」であるという意識を育み、河川の豊かさを実感しながら、新たな川づくりに主体的に携わっていくことです。そして、住民と住民がつながり、行政とも連携しながら、川づくり、湖づくりにともに取り組んでいくことが期待されます。

琵琶湖河川レンジャーは、こうした河川を取り巻く状況の中で、顕在化している課題だけでなく、将来を展望し、潜在している課題にも着目しながら、川づくりに対する住民の意識を喚起し、住民自身による活動を引き出し、住民と住民、住民と行政の協働の関係づくりをコーディネートする役割を担います。そのため、様々な立場の住民とのコミュニケーションや、住民活動への助言やサポート、住民と行政との協働による河川管理のあり方に関する提言などを積極的に行っていきます。

その結果、河川を愛し、守り、触れ親しむ人や、災害や事故などに対して自律的に対処できる人を増やし、かつてのような人々と河川との豊かな関係を再構築していきます。

## ■河川レンジャー活動に当たっての「姿勢」

○長期的な視野、幅広い視点、そして大きな志を持って活動に臨む

○固定観念にとらわれない柔軟な発想で活動テーマを定める

○定めたミッションの達成に向けて、住民と向き合い着実に進めていく

○主役はレンジャーではなく、住民自身であるという認識に立って取り組む

○独立性を保ち、自らの立場を明らかにして活動する

○継続性のある活動、受け継がれる活動に取り組む

○活動に必要な知識やスキルを日々向上させる努力を行う

## ■住民の真の知恵を聴取し、新たな川づくりに反映させるための活動プロセスとその「心得」

聴く・認識する

- ・多角的な意見、視点があることを理解・認識する
- ・住民との信頼関係を築き、本音を聴く
- ・普段川との接点がない人の声も聴く
- ・住民、行政それぞれの課題を認識する

呼びかける

- ・多世代が、川に触れ親しむきっかけをつくる
- ・子どもたちと川に関わる人々と出会いの場をつくる
- ・地域における住民の果たすべき役割を理解した上で、伝達や働きかけを行う

伝える

- ・河川レンジャーの役割・活動を分かりやすく発信する
- ・集めた情報は集めた場所にフィードバックする
- ・暮らしと川との関わりを“見える化”する
- ・地域の協働による活動の成果を地域内外に知らせる
- ・住民と行政の取り組みをそれぞれに分かりやすく伝える

引き出す

提案する

- ・住民自ら地域の声を聴き、問題を見つけ、地域の課題に取り組む意識を育てる
- ・住民による主体的な活動の立上げ、構築を支援する
- ・川づくりへの住民の参加・協働による取り組みを働きかける
- ・住民の思いや取り組みを背景に、行政に対して積極的に提案する

つなぐ

- ・立場や思いの異なる住民どうしをつなぐ
- ・相反する意見をつきあわせる
- ・連携可能な活動や主体(官・民)をつなぐ
- ・派生するつながりも敏感に取り入れ活かす

## ■活動テーマ設定に際しての「視点事例」

○川から遠ざかっている子ども、住民に対する関心の喚起

○川の自然的価値、歴史・文化的価値の再発見

○住民の昔からの暮らしの中で培われてきた環境維持技術の掘り起こし(好循環型社会の再構築)

○外来種による生態系や文化・社会への影響

○水防災への関心の喚起

○顕在化している住民ニーズへの取り組み。  
【河川管理者に寄せられた住民ニーズ(別紙参照)】

○潜在化している住民ニーズを把握する取り組み。



## ■河川レンジャー活動のイメージ

地に足をつける／地にありながら、天を思う。  
 視野の広さ／鳥のように、空から世界を見渡す。  
 多角的／蜻蛉のように、複眼で見る。  
 夢を語る・見せる／天下人のように、大きな夢を描く。  
 情熱／恋人のように、情熱で人を動かす。  
 夢の発掘／考古学者のように、こつこつと地域の夢を発掘する。  
 想いを形にする／産婆のように、住民の主体性が生まれる手伝いをする。  
 主人公になるお手伝い／名脇役のように、地域住民を引き立てる。  
 翻訳者、通訳／仲人のように、人を結ぶ。  
 紡ぐ／紡ぎ手のように、声なき人の声を紡ぎ出す。  
 デザインする／織師のように、多くの人の想いや動きを縦横に織る。  
 伝える／郵便屋のように、想いを届ける。  
 冷静・独立／審判のように、冷静に公正かつ公平にふるまう。  
 努力／アスリートのように、日々の努力を怠らない。  
 柔軟性／猫のように、しなやかに動く。  
 思考力／芸術家のように、鋭い観察眼で洞察する。  
 機動性、現場に立脚／新聞記者のように、足で稼ぐ。  
 継続性／職人のように、技術を日々積み重ねて進化する。  
 技／ドラえもんのように、あらゆる道具を繰り出す。

作成；南村委員

## ■顕在化している河川管理者に寄せられた住民ニーズ

- 野洲川の河道内樹木を伐採してほしい
  - 繁茂が著しくて増水の後、ビニールなどがゴミが引っかかって景観が悪い
  - 繁茂が著しくて流れを阻害していないか
  - 増水したときに溢れないか
  - 利用したいのに水際に近づけない
- 野洲川の高水敷の草を刈ってほしい
  - 繁茂が著しく景観が悪い
  - 利用したいのに高水敷の草で水際に近づけない
  - 花粉症なので早く刈ってほしい
- 野洲川の河口部の土砂を取ってほしい
  - 以前にくらべて河道に土砂がたまってきている。増水したときに溢れないか
- 瀬田川の水草を刈ってほしい
  - 繁茂してゴミが引っかかって汚い
  - 水面利用に支障がある(ボート・カヌーなど)
  - 臭いがひどい
- 瀬田川の外来種を駆除してほしい
  - 外来種(生物・植物)が増えて環境が悪化している
- (野洲川・瀬田川共通)ゴミを取ってほしい
  - 近くの川沿いにゴミ(生活・飲食・喫煙等)があつて汚い
  - 大型ゴミが投棄されている
  - 利用しようと思っても汚くて行けない
- (野洲川・瀬田川共通)河川の活用
  - ボート・カヌーが降りしやすいように護岸に傾斜をつけたい
  - 河川敷でバーベキューがしたい
  - 河川敷でラジコンやドローンがしたい、していて危険では？
  - 草を刈るのでスポーツの練習に使いたい
- 琵琶湖の水位が高い・低い
  - 水位管理をどのように考えてしているのか解らない
  - 大雨で水位が高くなっているのになぜ下げないのか
  - 漁業や農業、生きものに影響は？

(令和2年2月14日 現在)